

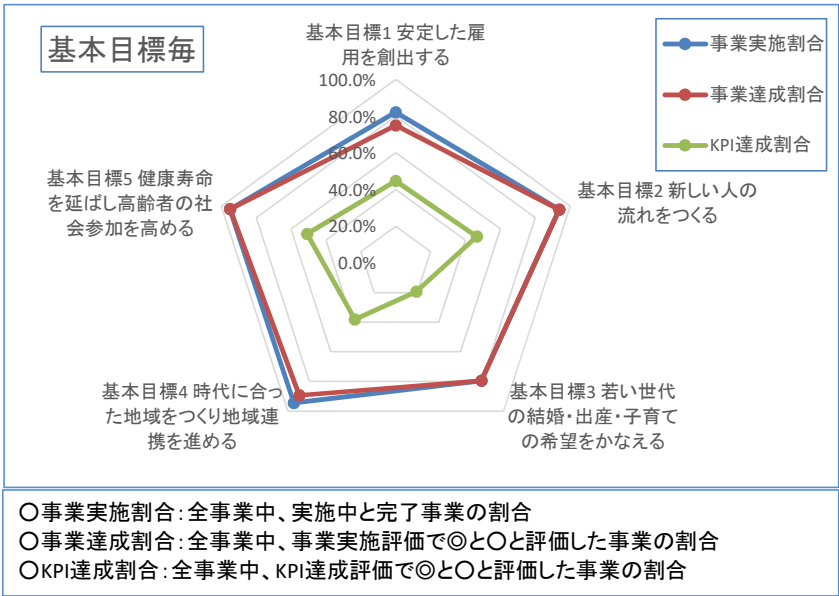
		事業実施状況					事業実施評価					各事業に対するKPI達成評価					
項目	基本目標・具体的施策名	取組事業数	実施中	未実施	完了	事業実施割合	◎	○	△	／	◎○割合	◎	○	△	—	／	◎○割合
基本目標1	安定した雇用を創出する	35	29	6	0	82.1%	15	12	2	6	75.0%	8	6	9	0	12	44.6%
1-1	企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大による雇用の創出	7	6	1		85.7%	2	3	1	1	71.4%	3		2		2	42.9%
1-2	地域産業の競争力強化による雇用の創出	14	12	2		85.7%	5	7		2	85.7%	2	1	6		5	21.4%
1-3	若い世代の経済的安定	7	5	2		71.4%	5			2	71.4%		5			2	71.4%
1-4	経済の地域内循環の促進	7	6	1		85.7%	3	2	1	1	71.4%	3		1		3	42.9%
基本目標2	新しい人の流れをつくる	36	32	3	1	93.8%	5	28	0	3	93.8%	6	10	6	0	14	46.5%
2-1	千曲市の魅力を発信するシティプロモーションの推進	9	8	1		88.9%		8		1	88.9%	4	3			2	77.8%
2-2	地域資源を活かした交流の拡大	7	6		1	100.0%		7			100.0%		5			2	71.4%
2-3	移住・定住の推進	10	8	2		80.0%	2	6		2	80.0%			3		7	0.0%
2-4	地方大学等の活用	4	4			100.0%	2	2			100.0%		2	1		1	50.0%
2-5	魅力的で誇りを持てる教育の提供	6	6			100.0%	1	5			100.0%	2		2		2	33.3%
基本目標3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	29	23	5	1	79.5%	7	17	0	5	79.5%	1	3	10	1	14	19.3%
3-1	結婚から妊娠・出産・育児に渡る切れ目ない支援	14	12	1	1	92.9%	5	8		1	92.9%		1	7		6	7.1%
3-2	子育て家庭の経済的負担の軽減	4	3	1		75.0%	1	2		1	75.0%	1	1			2	50.0%
3-3	協働による子育てコミュニティサイトの構築	6	3	3		50.0%	1	2		3	50.0%			2	1	3	0.0%
3-4	仕事と生活の調和の実現	5	5			100.0%		5			100.0%		1	1		3	20.0%
基本目標4	時代に合った地域をつくり地域連携を進める	28	23	2	3	94.4%	2	22	2	2	89.3%	4	5	4	0	15	38.1%
4-1	新幹線新駅設置等による交流拠点機能の強化	6	4	2		66.7%		3	1	2	50.0%	1				5	16.7%
4-2	都市の再構築によるエリア再生	7	5		2	100.0%	1	5	1		85.7%	1	1	1		4	28.6%
4-3	歴史・文化資源を活かした交流拠点の形成	3	3			100.0%		3			100.0%			3			0.0%
4-4	公共施設及びインフラの更新・統廃合・長寿命化の推進	3	2		1	100.0%		3			100.0%		1			2	33.3%
4-5	地域防災の充実強化	8	8			100.0%		8			100.0%	1	3			4	50.0%
4-6	広域連携による施策の推進	1	1			100.0%	1				100.0%	1					100.0%
基本目標5	健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める	21	20	1	0	95.0%	1	19	1	0	95.0%	4	7	3	4	3	50.8%
5-1	中高年が楽しみながら健康になれるスポーツのまちづくり	5	4	1		80.0%		4	1		80.0%		1	3	1		20.0%
5-2	生きがいづくりと社会参加	5	5			100.0%		5			100.0%		1		2	2	20.0%
5-3	健診受診促進と健康づくりの推進	5	5			100.0%	1	4			100.0%	2	2			1	80.0%
5-4	介護予防の実施	6	6			100.0%		6			100.0%	2	3		1		83.3%
合計		149	127	17	5	88.6%	30	98	5	16	85.9%	23	31	32	5	58	36.2%

【事業実施評価について】

評価	評価基準
◎	事業実施済み又は実施中で、KPI等に大きな成果がある場合
○	事業実施済み又は実施中で、一定の成果がある場合
△	事業未実施又は今後実施予定
／	測定不能な場合（未実施事業）等

【各事業に対するKPI達成評価について】

評価	評価基準
◎	令和元年度達成率100%以上
○	平成28年度から令和元年度中に達成率100%以上がある。 又は令和元年度時点で達成率80%以上。
△	平成28年度から令和元年度中に達成率100%以上がない。 又は令和元年度時点で達成率80%未満。
—	測定不能な場合等
／	未実施事業及びKPI対象外



【事業実施状況】

○第1期千曲市総合戦略の149事業中、実施中の事業は127事業、完了した事業は5事業となり、事業実施割合は全体で9割弱の高い実施率となった。

【事業実施評価】(上記基準に則して各課が評価)

○各課における事業実施評価では、一定以上の成果を上げた事業割合が8割を超え、計画した事業は概ね順調に実施している。

【各事業によるKPI達成評価】(上記基準に則して各課が評価)

○各事業実施によるKPIの達成評価では、約4割の事業がKPIの達成に寄与していると考えられるが、KPIと関連しない事業やKPIの把握ができない事業が63事業(約4割)あった。

基本 目標	具 体的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価		
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・―)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・―)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
1				安定した雇用を創出する												
1	1			企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大 による雇用の創出												
1	1	①		工場等立地推進												
			産業振興課	地域特性や強み、企業動向を把握した調整 担当者（コーディネーター）の派遣による 誘致推進	実施中	企業立地推進幹の配置	H26	—			◎	・ 空き工場・工場跡地のマッ チング 多数・成果14件 ・ 産業団地造成 3か所	企業訪問、市場関係者等から 情報等を収集・把握し情報調 整を行い、用地取得等の案件 を担当しています。	継続します。	◎	【1-3「工場等立地雇用支援 事業」の交付件数】 設備投資意欲があり用地取得 補助金がインセンティブと なった。
			産業振興課	用地取得（賃借）、工場設置、空き建物活 用、新規雇用等にかかる補助	実施中	商工業振興対策事業	H26	—			○	認定・交付実績 H29：17件 H30：8件 R元：6件	補助等があるので新設・増設 するまでの経済的インセン ティブにつながっています。	継続します。	◎	【1-3「工場等立地雇用支援 事業」の交付件数】 設備投資意欲があり用地取得 補助金がインセンティブと なった。
1	1	②		企業及び政府関係機関の地方移転												
			産業振興課	首都圏所在企業の本社機能の誘致促進	実施中	企業立地推進本部の設置	H 30	—			○	・ 固定資産税の不均一課税に 関する条例制定 ・ (県)本社の移転に対する支 援制度の拡充	全国の地方自治体は、首都圏 企業を地方移転させようと、 様々な優遇策や制度を創設し 誘致に乗り出しており競争が 激化していることから難題の 一つです。	長野県産業労働部や長野県東 京事務所と情報共有し継続し ます。	△	【1-1本社機能誘致】 立地に関心がある企業の把握 や用地の確保、設備投資など タイミングが難題。
			産業振興課	政府関係機関の誘致促進【政バ】	未実施				—	具体的な移転計画が示されな い中で、実現可能性が低い		長野県と情報共有・連携	政府が掲げる中央省庁の地方 移転が決まったのは文化庁(京 都)だけで、消費者庁と総務省 がその一部を移すだけにとど まって状況下であり、用地選 定などもない事案です。	長野県と情報共有し、引き続 き企業誘致活動の中で実施し ます。		
1	1	③		ICT産業の誘致強化												
			産業振興課	立地環境を選ばないICT関連企業事務所の 東京圏からの誘致の促進	実施中	・ 商工業振興対策事業（空き 建物活用事業）	H15	—			△	・ 長野県と情報共有・連携 ・ ICT関連企業誘致研修会に 参加 ・ 条例等の整備	ICT企業の誘致は全国各地の 自治体で行われています。県 と情報共有・連携します。	企業誘致活動の中で継続しま す。	△	【ICT産業の「空き事業所活 用事業」の交付件数】 移転に関心のある企業の把握 や設備投資、用地の確保など タイミングの合致が難題。
			産業振興課	サテライトオフィスの誘致、在宅ワークの 確保と就労者への教育による結びつけ （マッチング）【政バ】	実施中	・ 商工業振興対策事業（空き 建物活用事業） ・ ワークेशन、信州リ ゾートテレワークの推進	H15	—			◎	・ ワークेशन体験会の実 施 ・ ワークेशन自治体協議 会に参加 ・ 千曲市協働事業「女性のた めのライフワーク・プロジェ クト」を実施	コロナ禍を契機にリモート会 議・オンライン展示会などが 普及・浸透しており、新しい 働き方の一つとなるでしょ う。一方、企業負担が増える サテライトオフィス設置は難 しくなる傾向です。	・ サテライトオフィスの誘致 は、企業誘致活動の中で継続 実施します。 ・ 市内企業のテレワークを支 援するとともに、ワークー ションを受け入れ体制を整備 支援します。 ・ 就労マッチングは、H0-ホー ムが公共職業訓練などと連携し ます。		

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)
1	1	④		産業人材の結びつけ（マッチング）と誘致												
			産業振興課	市内企業経営者の右腕となる首都圏の人材確保の支援【政バ】 （政府政策パッケージのプロフェッショナル人材を想定）	実施中	・長野県プロフェッショナル人材戦略拠点の創設：（一社）長野県経営者協会 ・（県）プロ人材就業補助金の創設	H30	—			○	市内企業から具体的な要望はありません。	（一社）経営者協会が人材マッチングをサポートする仕組みを創設し、県でプロ人事就業補助金を創設しました。単独自治体ではなしえなかった事業を実施しました。	プロ人材確保・支援するプラットフォームが創設されたので、市内企業等に周知に努めます。	◎	【1-1 4人以上事業所1社当たり製造品出荷額等】 地域経済が堅調であり、人材マッチング事業も数多く開催された。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																	※黄色セルは進捗率100%超え								
具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)							目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課							
基本目標 1 安定した雇用を創出する																									
1	1-5	市内事業所雇用数	23,150	人	H24	25,922	人	H28	25,922	人	H29 (H26実績)	23,336	人	H30 (H28実績)	23,336	人	R1 (H26実績)	23,845	人	R1	108.7%	108.7%	97.9%	97.9%	産業振興課
1	1-5	新規若年雇用者数	236	人	H23～H26の 平均値	216	人	H28	228	人	H29	218	人	H30	213	人	R1 (H27～R1 の平均値)	250	人	H27～H31の 平均値	86.4%	91.2%	87.2%	85.2%	産業振興課
1-1	1-3	4人以上事業所1社当たり製造品出荷額等	78,682	万円	H25	87,576	万円	H28	87,576	万円	H29 (H26実績)	89,966	万円	H30 (H28実績)	102,792	万円	R1 (H29実績)	81,042	万円	R1	108.1%	108.1%	111.0%	126.8%	産業振興課
1-1	1-5	本社機能誘致数	0	件	H27	0	件	H28	0	件	H28～H29	0	件	H28～H30	0	件	H28～R1	2	件	R1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	産業振興課
1-1	1-3	ICT産業の「空き事業所活用事業」の交付件数	0	件	H27	0	件	H28	1	件	H28～H29	1	件	H28～H30	1	件	H28～R1	4	件	R1	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	産業振興課

1	2			地域産業の競争力強化による雇用の創出														
1	2	①		商品開発・市場開拓の支援														
1	2	①	産業振興課	技術、経営等の助言者（アドバイザー）、 産学連携先の紹介、斡旋	実施中	・千曲市産業支援センターアドバイザーを配置 ・産学官連携協定による地方大学の活用 ・東信州次世代産業振興協議会との連携により信州大学イノベーションセンターの活用	H18	—			◎	関係機関の連携により専門知識を有したアドバイスやコーディネーターの活用が可能となり、企業ニーズに応えた支援をしています。	産業展示会の出展周知・支援、AREC・善光寺パレーなどの広域連携、取引相談のマッチング、企業訪問など行っています。	事業継続します。	△	【1-2「新技術等開発事業」「販路開拓支援事業」の交付件数】 新技術の要件が厳しく、該当件数が見込みより少なかった。		
1	2	①	産業振興課	市産業支援センター活用への補助	実施中	産業支援センター事業	H18	—			◎	ものづくり講演会の開催、市内企業の展示会参加支援など行っています。	予算化し適正執行しています。	事業継続します。	◎	【1-3納税義務者1人当たり所得】 地域経済は堅調であったため。		
1	2	①	産業振興課	市場変化への対応力を強化するための新製品・サービス開発のための学習機会の提供	実施中	・産学官連携事業 ・東信州次世代支援協議会 ・信州大学ものづくり講演会など	H25	—			◎	企業グループによる電気自動車・小水力発電機の作成を行うなど事業化の可能性の検証や学習機会など開催しています。	学習機会を提供することで、企業間の連携が活発になっています。	事業継続します。	△	【1-2「新技術等開発事業」「販路開拓支援事業」の交付件数】 新技術の要件が厳しく、該当件数が見込みより少なかった。		
1	2	①	産業振興課	創業者のためのワンストップ相談窓口の設置	実施中	・ちくま創業サポーとデスクの設置 ・創業スクールの創設（商工団体）	H28	—			◎	創業者数 H29：13件 H30：10件 R元：7件	商工団体や金融機関などが支援に力を入れるようになり、専門家による創業スクールやセミナーなどを開催します。	専門知識を高めるためにも「創業スクールなど」を支援します。	○	【1-3創業件数】 地域経済が堅調で支援施策も増えたため。		
1	2	①	産業振興課	販路開拓支援（産業フェア展示会出展による販路開拓とビジネスマッチング）【先行型】	実施中	・展示商談会や市場動向、販路開拓支援(千曲市産業支援センター)	H18	—			◎	・オートモーティブワールド、諏訪圏工業メッセ、産業フェアなど各種展示商談会への出展支援 ・販売、販路拡大の相談支援	展示商談会や市場動向、販路開拓支援、技術支援を行っています。	コロナ禍の中、オンライン展示会・商談会なども支援します。	△	【1-2「新技術等開発事業」「販路開拓支援事業」の交付件数】 新技術の要件が厳しく、該当件数が見込みより少なかった。		

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
1	2	②		観光資源の活用と新市場への対応力向上の 支援												
			観光交流課	シニア層や海外誘客（インバウンド）等の 新市場への対応力向上の支援【政パ・県連 携】	実施中	商談会やイベントへの参加	H26	—			○	訪日外国人数は増加傾向にあ る。	県や北信濃観光連盟と連携 し、旅行会社を相手に行う 「旅行商品商談会」などで セールスを行った。 また、東南アジア、台湾。香 港・タイなどの親日国をター ゲットに現地でPR活動を行っ たことが旅行者増加につな がった。	これまでの広域連携に加え、 しなの鉄道沿線市町と連携 し、海外セールスを展開、合 同でのパンフレット作製や、 共同セールスを展開し、誘客 増に取組む。	△	【1-2訪日外国人宿泊者数】 年々増加傾向にあるが、昨年 は台風や新型コロナの影響も あり、下半期の数字が伸び悩 んだ。
			観光交流課	あんずを活用した通年誘客の促進に向けた 担当人材（スタッフ）の確保	未実施				—	農産物であるあんずを通年観 光として活用するには、生産 者の理解・協力のうえ、協働 によるしくみづくりが必要。 現状では、観光の基盤となる あんずの減少・後継者の問題 が先行しているため。 H30ヒアリング「実施しない」						
			観光交流課	姨捨棚田の景観保全と観光プログラム開発	実施中	夜景ツアー等	H29	—			○	参加者数：115人	姨捨地区の観光資源の整備を することで、誘客を推進する ことができた。	日本遺産に認定されたことか ら、積極的なP R商品造成を 進めるとともに、同時に認定 された上田市との連携や、県 内4カ所（木曽エリア・塩 尻・上田・千曲）を結ぶ旅行 商品の造成による誘客増に取 組む。	△	【1-2訪日外国人宿泊者数】 台風19号、新型コロナの影響 により振るわなかった。
			観光交流課	広域観光ルート開発【政パ・県連携】	実施中	観光局による広域観光推進事 業	H27	—			○	・旅行会社営業訪問 ・上信越ふるさと協議会観光 PR ・広域観光連携に向けた意見 交換会	県や北信濃観光連盟と連携し た広域観光に取り組んだ。	引き続き他団体と連携した観 光推進事業を進める。	△	【1-2訪日外国人宿泊者数】 年々増加傾向にあるが、昨年 は台風や新型コロナの影響も あり、下半期の数字が伸び悩 んだ。
1	2	③		観光資源の活用と新市場への対応力向上の 支援												
			観光交流課	信州千曲ブランドの認知度向上と高付加価 値化（プレミアム化）の促進【政パ】	実施中	千曲ブランド創出事業	H21	—			○	・各地の展示・即売会への参 加：出展回数16回 延べ60業 者 ・姉妹都市宇和島市の道の駅 での認定品販売	首都圏・関西圏でのイベントへ出 展し、認知度向上に努めた	認定業者の会により高付加価 値化への協議を進める		
			観光交流課	郷土食「おしぼりうどん」の通年食化のほ か、粉もん文化等、独自の食文化のPRと商 品化の促進	実施中	千曲ブランド創出事業	H21	—			○	信州千曲ブランド*としておや き・麺類の認定している	粉もん文化PRの場であるそば 祭りは令和元年東日本台風に より中止	今後の開催については実行委 員会（事務局：観光局）によ り検討必要		
			観光交流課	工業製品など食品以外の信州千曲ブランド の適用範囲の拡大とPR	未実施				—	工業製品を信州千曲ブランド として認定する基準を定める のが困難なため。またふるさと納税の返礼品として、地場 産品であるいくつかの工業製 品はPRできているため。						

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始年度	事業終了年度	着手予定年度	実施延ばした理由、又は実施しない理由	達成状況 (○・○・△・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・△・ー)
			観光交流課	地域資源を活用したブランド育成（信州千曲ブランドのPR）【先行型】	実施中	千曲ブランド創出事業	H21	—			○	信州千曲ブランド®認定品が10777 ・市外用：9000部作成 ・市内用：21000部作成	作成したガイドブックの関係施設等への配布及び市内全戸配布を行い、PRした	2年ごとに認定品新規募集を行い、審査及び更新を実施、ガイドブックの作成及び配布	◎	【1-2千曲ブランド認定数】 R1進捗率：122.3% 事業者による新商品開発等により、R1年度には23品目が新規認定（製造中止等による認定除外もあり）され、159品目となったため。
			観光交流課	広域によるブランド育成（千曲川地域ブランドフェアの補助と関東圏でのイベント開催）【先行型】	実施中	千曲ブランド創出事業	H24	—			○	・R1千曲川流域は令和元年東日本台風により中止 ・H24以降H30まで7回開催。 平均出展団体：50団体 平均来場者数：3200人 平均総売上：約240万円	・R2は新型コロナウイルスの影響により中止 ・市内及び千曲川流域の市町村・団体に数多く出展いただき、集客・売上ともに一定の成果を上げている。	・今後の開催については実行委員会により検討必要 ・関東圏でのイベントに出展		

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」															※黄色セルは進捗率100%超え				
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課	
基本目標 1 安定した雇用を創出する																			
1-2	1-2	「新技術等開発事業」「販路開拓支援事業」の交付件数	24 件	H24～H26	22 件	H28	41 件	H28～H29	58 件	H28～H30	72 件	H28～R1	100 件	R1	22.0%	41.0%	58.0%	72.0%	産業振興課
1-2	1-4	訪日外国人宿泊者数	7,474 人	H24	4,801 人	H28	7,470 人	H29	8,380 人	H30	9,072 人	R1	15,000 人	R1	32.0%	49.8%	55.9%	60.5%	観光交流課
1-2	1-2	千曲ブランド認定数	126 品目		142 品目	H28	155 品目	H29	155 品目	H30	159 品目	R1	130 品目 (新規商品10)	R1	109.2%	119.2%	119.2%	122.3%	観光交流課

1	3			若い世代の経済的安定														
1	3	①		若者・子育て世代への就労・創業支援														
1	3	①	産業振興課	おしごとながの（長野市が運営する人と企業の結びつけ（マッチング）WEBサイト）を活用した就労支援	実施中	Webサイトによる求人情報「おしごとながの」公開中	H29	—			◎	市内企業34社	行政が関与するWeb求人情報サイトに登録する企業は、信用が高く長野地域に住む両親や親族から高い評価があります。	Webサイト求人情報等是有効な広告手段であるため、今後も継続します。	○		【1市内事業所雇用数】 市内経済は堅調であるが、慢性的な働き手不足であった。ミスマッチ解消のため様々な支援策等の効果があった。	
1	3	①	産業振興課	就労相談の実施	実施中	・新庁舎に「ふるさとハローワーク」設置 ・就労支援講座の開催、若者・子育て世代の就労就労相談など実施	R1	—			◎	令和元年度実績 ・就労支援講座の開催（参加者3名） ・若者・子育て世代の就労相談（1名）	就労支援講座などの参加者数は減少傾向が続いている。一方、ふるさとハローワークでは、雇用に関する各種相談者数が増加しています。	新庁舎にふるさとハローワークを設置したので、相談体制の統合を検討します。	○		【新規若年雇用数】 市内経済は堅調であるが、慢性的な働き手不足であった。ミスマッチ解消のため様々な支援策等の効果があった。	
1	3	①	産業振興課	産業界のニーズに対応した技能向上（スキルアップ）講座の開催	実施中	公共職業訓練100トレーニングの各種講座、資格取得の開催	不明	—			◎	公共職業訓練100トレーニングの科目 ・パソコン会計実務（初級・商業簿記・電子会計など） ・介護職員チャレンジ科 ・電気設備技術科 ・ビル設備サービス科 など	公共職業訓練100トレーニングとして、パソコン会計実務、介護職、電気設備技術などの様々な訓練を開催していることから、本市での開催はスケール的にディメリットが大きいと考えます。	専門家による公共職業訓練100トレーニングを統合し案内します。	○		【1市内事業所雇用数】 第二次産業は慢性的な働き手不足が続き、支援策等の効果があった。	
1	3	①	産業振興課	創業支援（補助・アドバイス）【政バ】	実施中	ちくま創業サポートデスクの設置	H29	—			◎	創業者数 H29：13件 H30：10件 R元：7件	商工団体や金融機関などが支援に力を入れるようになり、専門家による創業スクールやセミナーなどを開催します。	創業支援は、専門知識を高めるためにも「創業スクールなど」を案内します。	○		【1-3創業件数】 地域経済が堅調で支援施策も増えたため。	

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始年度	事業終了年度	着手予定年度	実施延ばした理由、又は実施しない理由	達成状況 (○・○・△・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・△・ー)
1	3	②		IJUターン受入企業及び就業者への経済的支援												
1	3	①	産業振興課	県外からの転入者を雇用する企業への補助【政パ】	実施中	就職企業説明会(首都圏等)	H29	—			◎	6月大学と企業との情報交換会in東京 6.10.12.2月 長野地域UIJターン就職促進事業	就職企業説明会(首都圏等)に参加していただくよう協力支援を行っています。	今後はオンラインなど取り入れ事業を拡充し継続します。	○	【1市内事業所雇用数】 慢性的な働き手不足が続き、支援策等の効果があった。
1	3	①	産業振興課	県外から転入した就業者への補助（奨学金の優遇制度）【政パ】	未実施				—	必ずしも奨学金を借りているのではなく、就業者を県内外の区別するには抵抗があります。						
1	3	③		非正規雇用の解消												
1	3	③	産業振興課	非正規雇用者の正社員化を進める【政パ・県連携】	未実施				—	・企業等の雇用は直接雇用しており関与できないため。 ・長野県ジョブカフェ信州で、正社員化を支援する「正社員チャレンジ」創設したため。						

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」															※黄色セルは進捗率100%超え				
具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)						目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課		
基本目標 1 安定した雇用を創出する																			
1-3	1-5	創業件数	4 件	H26.11～ H27.3	14 件	H28	27 件	H28～H29	37 件	H28～H30	44 件	H28～R1	50 件	R1	28.0%	54.0%	74.0%	88.0%	産業振興課
1-3	1-5	「工場等立地雇用支援事業」の交付人数	0 人	H27	0 人	H28	5 人	H28～H29	11 人	H28～H30	11 人	H28～R1	10 人	R1	0.0%	50.0%	110.0%	110.0%	産業振興課
1-3	1-5	納税義務者1人当たり所得	2,666 千円	H25	2,731 千円	H28	2,737 千円	H29	2,788 千円	H30	2,786 千円	R1	2,746 千円	R1	99.5%	99.7%	101.5%	101.5%	産業振興課

1	4			経済の地域内循環の促進													
1	4	①		食品製造業における生産・加工・消費の三者の交流促進													
			観光交流課	地産地消の推進と企業の商品改善、生産者の知識向上を目的に、農業者と消費者が食品製造工場を見学するツアー及び商品改良の提案等の意見交換を実施	実施中	観光局による企業連携業務工場見学ツアーの実施などにより、地産地消の推進や企業との意見交換を実施	H22	—			○	・あんず加工体験 ・リング狩りツアー：87組、447人	体験ツアーを通して、千曲市の特産品について関心を高めてもらえた。	新たなツアー等の実施			
1	4	①	産業振興課	直売所の充実支援	実施中	千曲市産業支援センター事業	H18	—			△	あんず、地場野菜などの食品加工品のパッケージや展示方法を指摘・指導します。	千曲市産業支援センターの活動の中で支援します。	今後も継続します。	△	【1-4地元産品を新たに使用する事業所】 問合せや相談などには親身になり対応していますが、目標には達しなかった。	
1	4	②		あんずをはじめとした地元農産物の加工商品化の促進													
1	4	②	産業振興課	特産の農産物を活用した食品加工事業者による新商品開発の支援 【政パ】	実施中	千曲市産業支援センター事業	H18	—			◎	あんずや野菜、果樹などの食品加工の商品化・販売など商業アドバイザーが支援します。	千曲市産業支援センターの活動の中で支援します。	今後も継続します。	◎	【1-4新商品開発支援件数】 商業アドバイザーの支援等の効果があった。	
			農林課		実施中	あんずブランド化事業	H30	—			○	プレミアムハーコット「杏月」の販売開始。（出荷数1,894玉）	首都圏においてあんずの認知度を高めることができた。	ハーコットを使用した加工品の研究を進めていく			

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始年度	事業終了年度	着手予定年度	実施延ばした理由、又は実施しない理由	達成状況 (○・○・△・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・△・ー)
1	4	③		千曲市産のワイン用ぶどうの製造・販売												
			農林課	千曲川ワインバレー広域特区の展開にあわせたワイン用ぶどうの産地化の促進	実施中	ワイン振興事業	H28	—			◎	ワイン用ぶどうの栽培面積が当初の1haから5.9haに拡大した。	当面の目標面積は達成したものの、産地化には更なる面的拡大が必要。	試験栽培で良い結果を得た品種「マルベック」を中心に引き続き生産拡大を図る。	◎	【ワイン用ぶどうの栽培面積】 市単独補助事業による圃場整備の支援により圃場面積が拡大した
			農林課	質の高いぶどう栽培及びワイナリー経営等に関する学習会の開催	実施中	ワイン振興事業	H28	—			◎	ワイン用ぶどうの生産者が7名に拡大した。 試験栽培品種「マルベック」が市場から高い評価を得た。	当面の目標面積は達成したものの、産地化には更なる面的拡大が必要。	現行の栽培講習会に加え、初心者向けセミナーなどの開催も検討する。	◎	【ワイン用ぶどうの栽培面積】 市単独補助事業による圃場整備の支援により圃場面積が拡大した
			農林課	ぶどう栽培農家等への利子助成制度の創設【日本政策金融公庫】	未実施				—	昨今の超低金利政策により、一般の制度資金でも十分に低い金利で融資が受けられるため						

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」														※黄色セルは進捗率100%超え				
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)						目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課		
基本目標 1 安定した雇用を創出する																		
1-4	1-3	地元産品を新たに使用する事業所数	1 社	0 社	H28	0 社	H29	1 社	H30	1 社	R1	5 社	R1	0. 0%	0. 0%	20. 0%	20. 0%	観光交流課
1-4	1-2	新商品開発支援件数	1 件	2 件	H28	3 件	H28～H29	4 件	H28～H30	6 件	H28～R1	5 件	R1	40. 0%	60. 0%	80. 0%	120. 0%	産業振興課
1-4	1-3	ワイン用ぶどうの栽培面積	1 ha	2. 4 ha	H28	3. 5 ha	H29	5. 1 ha	H30	5. 9 ha	R1	4 ha	R1	60. 0%	87. 5%	127. 5%	147. 5%	農林課

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
2				新しい人の流れをつくる												
2	1			千曲市の魅力を発信するシティプロモーションの推進												
2	1	①		千曲市の認知度と郷土愛の向上												
			観光交流課	千曲の日制定、ふるさと検定、ふるさと広報大使任命等、内外への千曲市のPR	実施中	シティプロモーション事業	H25	—			○	・Tommy Cho氏コンサート時のPR ・信州BW公式戦開催時のPR	Tommy CHO氏の県外コンサート及び信州BWのウェアゲームでもPRを実施した	信州BWとは包括連携協定締結予定。観光PRだけでなく、市との総合的な連携を図る	○	【2-1地域ブランド調査認知度】 1000市区町村を対象とした調査であり、全国に対するPRが不足しているため。
			観光交流課	ゆるキャラ、ご当地グルメ等を活用した千曲市の各地でのPR	実施中	シティプロモーション事業	H25	—			○	・あんずお出かけ：53件 ・あんずヨーグルトスムージー：第5回ふるさと甲子園デザートドリンク部門第2位 ・あんずジャムの開発及び販売	ゆるキャラGP、ふるさと甲子園等の全国規模のイベントに参加し、PRすることができた	・ゆるキャラGPはR2年度が最終回、ふるさと甲子園についてはwith30に対応のイベントへ転換の見込み ・あんずジャムの製造・販売事業者の拡大に取り組む		
			観光交流課	メディアへの話題提供による広報（パブリシティ）の推進	実施中	信濃毎日新聞などへ広告掲載 ロケツーリズムによるロケの受入れ	—	—			○	広告掲載：11件 ロケ受入れ本数 映画4本 情報番組等28本	広告掲載やロケの受け入れをすることで、千曲市のPR活動を行うことができた。	誘客につながる広告掲載を推進する 幅広いジャンルの多くの作品を誘致し、ロケ地ツアーを造成するなど、知名度向上に繋げる。	◎	【2-1観光・地域情報の発信件数】 ロケ地としての市の認知度が向上しつつあり、それを活用するための情報発信に努めているため。
			観光交流課	「あんず市」宣言、住みやすさの分析等、発信すべき情報の研究と内容構築	未実施				—	あんず市を宣言する意図、効果が不明 H30以降に「実施しない」						
			観光交流課	知名度向上と移住促進のためのPR（TV放映・広告宣伝）【先行型】	実施中	シティプロモーション事業	H28	—			○	・24時間テレビ 市内募金会場からの中継及び市PR動画の放映 ・信州BWにフォームへの広告掲出 エフォームバンツへの掲出	24時間テレビでの中継・放映は県内のみであり、千曲市の認知度向上の目的は達成した	・24時間テレビ放送事業のあり方検討 ・B1に昇格した信州BWを活用したPRの推進 ・カザリマの推進	○	【2-1地域ブランド調査認知度】 1000市区町村を対象とした調査であり、全国に対するPRが不足しているため。
2	1	②		若者、子育て世代に選ばれるためのPRの実施												
			観光交流課	若者、子育て世代の希望を叶えることができる生活環境のよい街であることを情報誌・WEBサイト等から発信（出産・子育て・不動産・教育等の情報）	実施中	移住定住促進事業	不明	—			○	「おいでよ 千曲へ」更新	情報誌等を使った発信はできなかった	情報発信のための予算措置	◎	【2-1 30代男女の転出入数】 庁内関係部署との連携により市HP等による情報発信に努めたことも目標達成の要因の一つと思われる。
			観光交流課	首都圏等に就職した男女のUターンを促進するため、転職・出産・子育て等の人生の節目（ライフステージ）の転換期に、移住提案／仕事紹介の情報誌を送付【県連携】	実施中	移住定住促進事業	不明	—			○	・楽園信州移住セミナー：3回 ・連携中枢移住定住相談会：3回 ・UIターン就業・創業移住支援事業	・県や他の自治体と連携し、相談会を実施した ・UIターン就業・創業移住支援事業を開始、実績はなかった	オンラインによる移住相談会開催の検討	◎	【2社会増減】 関係機関との連携によるセミナー・相談会を実施したことも目標達成の要因の一つと思われる。

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価		
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
2	1	③		オール千曲の観光地域づくりの推進												
			観光交流課	観光地域づくりプラットフォーム（千曲市版DMO）の創設【政パ】	実施中	信州千曲観光局の設立	H29	—			○	観光局にイベント事務局の移管をすることで、効率的な運営を行うことができた。	観光局が事務局となり、千曲市は協賛となることで、立場が明確化できた。	今後も同様の立ち位置で各事業を行っていく。	○	【2観光客入込総数】 一昨年より増加したが、台風やコロナの影響もあり、目標値達成はならなかった。
			観光交流課	歴史文化資源、温泉、体験、食、観光ルート、宿泊、スポーツ等の情報発信（各主体からの取りまとめ）	実施中	SNS等を活用した情報発信	H15	—			○	・HP記事投稿数：205件 ・FaceBook記事数：193件	SNS等を通じて観光情報を発信することで、千曲市を訪れる観光者数の増加に寄与したと考えられる。	記事の更新頻度を上げること で、情報の拡散量を増やす。	◎	【2-1観光・地域情報の発信件数】 様々なSNS等を使い積極的な情報発信を行った結果、目標を達成することができた。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																※黄色セルは進捗率100%超え									
具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)						目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課								
基本目標2　新しい人の流れをつくる																									
2	1-6	社会増減（年間延べ）	▲168	人	H26	143	人	H28	53	人	H29	73	人	H30	121	人	R1	▲18	人	R1	207.3%	147.3%	160.6%	192.7%	総合政策課
2	1-4	観光客入込総数	441,800	人	H25	469,500	人	H28	424,600	人	H29	376,100	人	H30	437,200	人	R1	463,890	人	R1	101.2%	91.5%	81.1%	94.2%	観光交流課
2-1	1-6	地域ブランド調査認知度	569	位	H26	491	位	H28	521	位	H29	577	位	H30	573	位	R1	500	位以内	R1	0.0%	96.0%	86.7%	87.3%	観光交流課
2-1		30代男女の転出入数	転出超過			転入超過 (転入424＞転出341)		H28	転入超過 (転入384＞転出370)		H29	転入超過 (転入453＞転出381)		H30	転入超過 (転入420＞転出348)		R1	移動均衡		R1	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	総合政策課
2-1	1-4	観光・地域情報の発信件数	0	件		95	件	H28	243	件	H29	768	件	H30	644	件	R1	365	件	R1	26.0%	66.6%	210.4%	176.4%	観光交流課

2	2			地域資源を活かした交流の拡大													
2	2	①		スポーツによる誘客の推進													
			観光交流課	信州ブレイブウォリアーズ観戦者の増加促進【政パ】	実施中	シティプロモーション事業	H27	—			○	2019-20シーズン市内ホーム平均入場者数：1767人（前シーズン比112%）	新しいアリーナと好成績が、入場者数増加の要因の一つと思われる	B1昇格によりことりでのホームゲーム開催数は減るが、市内での宿泊につながるよう誘客に努める	○	【2-2信州BW市内試合観戦者数】 新しいアリーナと好成績が、入場者数増加の要因の一つと思われる。また新聞等への広告掲載やアリーナにおけるPR活動により認知度が向上したため。	
			観光交流課	スポーツ合宿の積極誘致	実施中	観光局による旅館宿泊紹介業務	H15	—			○	R1 市内3931人泊（未提出施設あり）	多くの旅館で積極的に受け入れを行っている。	観光局とも協力しながら、スポーツ合宿での利用を促進する。	○	【2観光客入込総数】 一昨年より増加したが、台風やコロナの影響もあり、目標値達成はならなかった。	

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
					実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始年度	事業終了年度	着手予定年度	実施延ばした理由、又は実施しない理由	達成状況 (○・○・△・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・△・ー)	関連KPIの目標達成・非達成理由
			スポーツ振興課	千曲川ハーフマラソン等の参加型スポーツイベントの開催	実施中	千曲川ハーフマラソン	H27	—			○	参加者数の推移は下記のとおり 第1回（H27）2,049人 第2回（H28）2,491人 第3回（H29）1,537人 第4回（H30）1,552人 第5回（H31）1,640人（台風の影響により中止） 開催時期が第1回と第2回が3月、第3回と第4回が5月の開催であった。さらなる参加者増を目指し、県内の他大会の開催状況等を勘案し第5回から11月の開催としたが、台風の影響により中止となった。	全国各地で様々なマラソン大会が開催される中、ランナーに選んでいただける大会となるよう、千曲川ハーフマラソンならではのアピールポイントである「温泉」との融合を打ち出して開催してきたが、参加者数が伸び悩んでいる。所管課としては、最低でも2,000人集まる大会としていきたい。	千曲川周辺でのランニング振興施策である「千曲ラン」のPRにより一層力を入れ、日頃の練習の成果を試す機会として千曲川ハーフマラソンを位置づけていく。温泉とランニングをセットで楽しむというライフスタイルの提案に引き続き取り組み、健康・スポーツの振興と併せて交流人口の増加につなげる。		
2	2	②		女性・親子向け体験型イベントの提供												
			観光交流課	女性・親子をターゲットにした集客力の高いイベントの開発	実施中	観光局による旅行商品造成業務	不明	—			○	長野県観光機構と連携し、webメディア「H Y A K K E I」（ドット百景）に女子旅を提案し、有料モニター4名が応募。	ターゲットを絞ったイベントにも需要が一定割合あるため、そのようなイベントを企画して集客に繋げることが必要。	当市に訪れる観光客の年齢層、性別において、20代から30代の女性層への訴求は大変重要であり、今後も積極的に取り組みたい。	○	【2-2タ体験イベント等集客数】 新型コロナが世界的に蔓延してしまい、その後の取組みに至らなかったため、収束後には積極的に展開したい。
			観光交流課	収穫体験、オーナー制度、千曲川マルシェ（＝市場→千曲ブランドを中心に開催する販売イベント）等による千曲ファンの拡大促進	実施中	千曲ブランド創出事業	H24	—			○	・R1千曲川マルシェは令和元年東日本台風により中止 ・H24以降H30まで7回開催。 平均出展団体：51団体 平均来場者数：3520人 平均総売上：約240万円	・R2は新型コロナウイルスの影響により中止 ・市内及び千曲川流域の市町村・団体に数多く出展いただき、集客・売上ともに一定の成果を上げている。	今後の開催については実行委員会により検討必要	○	【2-2千曲川マルシェ集客数】 H24からの継続開催によりイベント認知度が向上したため。また各種媒体を活用した情報発信に努めたため。
2	2	③		外国人旅行者増加による地域経済の活性化と地域ブランド力の引き上げ												
			観光交流課	民間事業者が設置する無料公衆無線LANへの設置補助 【先行型】	完了	千曲市観光施設無線LAN整備事業	H27	H29			○	民間事業者無線LAN設置数：23件	設置費用を補助することで、宿泊施設を中心に無線LAN環境を整備することができた	完了済	○	【2観光客入込総数】 一昨年より増加したが、台風やコロナの影響もあり、目標値達成はならなかった。
			観光交流課	日本一から世界一の「あんずの里」に地域ブランド力の引上げ(無線LANの整備を含む)【先行型】	実施中	ロケ地マップ・ロケ地看板の設置、あんずを使用したご当地グルメの開発。	不明	—			○	ロケ地マップの作製3種類 ロケ地看板の設置2カ所	映画を見て実際のロケ地を訪れる旅行者もあり、ロケ地マップ作製や看板の設置も集客効果があった。	版權交渉をしっかりと行い、より多くの作品のマップ・看板等を整備したい。		

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																		※黄色セルは進捗率100%超え			
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課			
基本目標2 新しい人の流れをつくる																					
2-2	1-4	信州ブレイブウォリアーズ市内試合観戦者数	1,500人 ／ 試	H27	1,274人 ／ 試	H28	1,388人 ／ 試	H29	1,568人 ／ 試	H30	1,767人 ／ 試	R1	2,200人 ／ 試	R1	57.9%	63.1%	71.3%	80.3%	観光交流課		
2-2	1-4	千曲川マルシェ集客数	3,500人	H27・千曲川マルシェ等	4,000人	H28	3,000人	H29	4,000人	H30	実施なし	人	R1	4,000人	R1	100.0%	75.0%	100.0%	—	観光交流課	
2-2	1-4	体験イベント等集客数	191組	H27・収穫体験・オーナー制等	90組	H28	89組	H29	92組	H30	324組	組	R1	340組	組	26.5%	26.2%	27.1%	95.3%	観光交流課	

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
					実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
2	3			移住・定住の推進												
2	3	①		若年層・子育て世代のIJターンとUター ン・定住の促進												
			観光交流課	移住コンシェルジュの設置と地域の受入サ ポーターの養成【政パ】	実施中	移住定住促進事業	不明	ー			○	先輩移住者に、ヒナ参加等協 力いただいた	市外から移住した人の目線 で、これから移住を考えてい る人に対する助言等を行って いただいた	移住施策に協力いただける方 の掘り起こし		
			観光交流課	空き屋、レンタルハウス、ゲストハウス等 を活用した「お試し移住体験」の実施【政 パ】	実施中	移住定住促進事業	不明	ー			○	市内見学ツアーの実施：3組	事前に見学希望先を聞き取り 優先的に案内するなど、柔軟 に対応した	移住希望者の要望に応えると ともに、市からのPRも含め、 魅力を知ってもらうよう努め る	△	【2-3お試し移住件数】 市内見学ツア-の周知が不足して いた
			観光交流課	地域おこし協力隊による移住PR、外部視点 からの地域の魅力発掘【政パ】	実施中	移住定住促進事業	H28	ー			○	観光情報収集とSNSを活用し た発信	協力隊員（観光局勤務）によ る地域の魅力発掘・発信がで きた	観光交流課としての地域おこ し協力隊員新規募集はなし		
			農林課	遊休農地の貸し出しによる農園の提供	実施中	・市民農園 ・農園ごっちゃん（サポート 付き） ・農地相談会 ・あっせん農地情報	H15 H24 H26 H27	ー			○	・前年に比べ6区画減少した が、利用者が2人増加した。 ・前年に比べ、利用者が5人 増加。 ・農園ごっちゃん 6区画 ・農地相談会 49人 ・あっせん成立件数 50件	・直売所・道の駅等が増加し ているため、農園離れが進ん でいる。 ・市民農園利用者から、栽培 方法の指導依頼があるため、 農園利用者は増加傾向にあ る。 ・農地相談会等により遊休農 地を把握し、遊休農地解消に 向け農地のあっせんに取組め ている。	・駐車場の整備予定。 ・R2に農園1力所新設予定。 ・今後も継続して農地相談会 や農地のあっせんを行う。		
			観光交流課	移住促進のためのPR（東京圏等における移 住イベントへの参加）【先行型】	実施中	移住定住促進事業	H27	ー			○	・移住相談会 東京圏：5回 愛知県：1回 大阪府：1回	その他、不定期でふるさと回 帰支援センター内の長野県プ-スを 利用した出張デ-スを開催した	ワラインによる移住相談会開催の 検討		
			農林課	就農希望者の呼び込み（就農相談会参加・ 研修・就農体験・農地借上げ）【先行型】	実施中	新規就農者支援事業	H25	ー			◎	・計画期間中に経営を開始し た青年等新規就農者数=7名	・年1名という食料・農業・農 村基本計画上の目標値は達成 しているものの、リタイアす る農家に対して就農者数は不 足している	・更なる就農希望者の掘り起 こしに向け、WEB面談体制の 拡充などを進めていく。		
			教育総務課	ふるさと納税を活用した「Uターン者向け 奨学金制度」の創設【政パ】	実施中	UIターン者向け奨学金償還優遇 制度事業	平成30 年度	ー			○	令和元年度 申請者2名	転入手続き後に制度を知り申 請をしたものであり、直接人 口増加の成果は出ていない。	移住を検討している者にか に制度を周知するかについて 研究。（他部署との連携含 む）	△	【Uターン者向け奨学金利用 者数】 有効な制度周知が出来ていな い。
			産業振興課	首都圏における千曲市出身学生コミュニ ティの設立とUターン促進イベントの共同 開催【信州若者1,000人会議・政パ・県連 携】	実施中	・長野地域UIターン就職促進 事業 ・大学と長野県企業との情報 交換会in東京	H30	ー			◎	・6/17 大学生と企業との情 報交換会in東京 54社/125名 参加 ・6/29、10/20、12/28、 2/22 長野地域UIターン数 職促進事業 延べ200社/788名 参加	県、連携中枢、東信州次世代 産業振興協議会の連携するこ とで、本市単独ではなしえる ことが難しい、事業を広域と して行っています。	継続します。		

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
					実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
2	3	②		シニア世代の移住促進												
			高齢福祉課	千曲市の強みを活かした、健康時から介護 時まで継続的ケアを提供する生涯活躍のま ち（千曲市版CCRC）の設置へ向けた検討 【政パ】	未実施					市では、現在、高齢者の介護 予防・生活支援サービスの基 盤づくりを構築するための 「生活支援体制整備事業」を 進めており、まずは、高齢者 がこれからも住み慣れた地域 で生活を送れる基盤（社会資 源）づくりから進めていき たい。				現状、実施する予定はない。		
			危機管理防 災課	都市圏自治体との防災協定と市民交流の促 進	未実施				—	都市圏自治体と防災協定の締結を 検討したが、自治体が見当たらな いため締結していない。				次期総合戦略に新たな施策を 定め、安全・安心な街づくり を目指す。	△	【2-3都市圏自治体との防災 協定件数】 都市圏自治体と防災協定の締 結を検討したが、自治体が見 当たらないため締結していな い。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」															※黄色セルは進捗率100%超え				
具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)						目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課		
基本目標 2 新しい人の流れをつくる																			
2-3	1-6	お試し移住件数	0 件	H27	0 件	H28	0 件	H29	0 件	H30	3 件	R1	6 件	R1	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	観光交流課
2-3	1-6	Uターン者向け奨学金利用者数	0 人		0 人	H28	0 人	H29	0 人	H30	2 人	R1	50 人	R1	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	教育総務課
2-3	4-1	都市圏自治体との防災協定件数	0 件	H27	0 件	H28	0 件	H29	0 件	H30	0 件	R1	1 件	R1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	危機管理防災課

2	4			地方大学等の活用													
2	4	①		サテライトキャンパスの誘致													
			歴史文化財センター	棚田や温泉など千曲市を研究地域とする大学（研究者・学生）の研究活動への支援【政パ】	実施中	名勝娯捨整備事業ほか	H28以前	—			○	棚田や稲荷山等をフィールドワークとしている大学等に研究の一環として調査を委託し、研究活動の支援を行った。	大学等に研究の一環として調査を委託することにより、対象地域の課題解決への取り組みが可能となった。	娯捨の棚田だけでなく、市内全域を対象とした取り組みが必要	○	【2-4研究支援件数】 大学等が求めている研究課題のニーズの把握が十分でなかった。	
			歴史文化財センター	学生への研究テーマ（千曲市の課題）の提供【政パ】	実施中	名勝娯捨整備事業ほか	H28以前	—			○	棚田や稲荷山等をフィールドワークとしている大学等に研究の一環として調査を委託し、研究活動の支援を行った。	大学等に研究の一環として調査を委託することにより、対象地域の課題解決への取り組みが可能となった。	娯捨の棚田だけでなく、市内全域を対象とした取り組みが必要	○	【2-4研究支援件数】 大学等が求めている研究課題のニーズの把握が十分でなかった。	
2	4	②		千曲市企業と学生との接点づくり													
2	4	②	産業振興課	学生への就職等の情報提供	実施中	・Webサイト「おしごとながの」開設 ・大学と長野県企業との情報交換会in東京 ・長野地域UIターン就職促進事業	H29	—			◎	・Webサイト「おしごとながの」市内34社登録 ・6/17 大学生と企業との情報交換会in東京 54社/125名参加 ・6/29、10/20、12/28、2/22 長野地域UIターン数職促進事業 延べ200社/788名参加	県、連携中枢、東信州次世代産業振興協議会の連携することで、本市単独ではなしえることが難しい、事業を広域として行っています。	継続します。	△	【2-4おしごとながの」企業登録件数】 登録件数が伸びないことを鑑みるとWebを利用する事業者数は35社程度である。	
2	4	②	産業振興課	職場体験実習生（インターン）受入れ企業のPRと受入れ補助と企業見学バスツアーの開催	実施中	産学官連携パートナーシップ協定にもづく事業	H22	—			◎	・あんずの収穫～加工体験（清泉女学院大学） ・食品工場見学（長野県立大学）	受入れ企業からも食品加工の理解を深め、就業につながることから好評です。	継続します。			

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括													
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)				(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針						KPI評価
					実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由		

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																	※黄色セルは進捗率100%超え			
具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課	
基本目標 2 新しい人の流れをつくる																				
2-4	1-2	研究支援件数	2 件	H26	3 件	H28	3 件	H29	2 件	H30	5 件	R1	6 件	R1	50. 0%	50. 0%	33. 3%	83. 3%	歴史文化財センター	
2-4	1-5	「おしごとながの」企業登録件数	0 件	H27	17 件	H28	31 件	H29	31 件	H30	34 件	R1	50 件	R1	34. 0%	62. 0%	62. 0%	68. 0%	産業振興課	

2	5			魅力的で誇りを持てる教育の提供													
2	5	①		千曲型コミュニティスクールの推進													
			教育総務課	地域住民の学校運営への協力体制づくりの 推進（教員OB・文化を伝承する高齢者と児童との交流）	実施中	千曲型コミュニティスクール推進事業	H28	—			◎	H30に全ての小中学校で千曲型コミュニティスクールをスタートさせており、R1はその充実を図るため、「千曲型コミュニティスクール関係者連絡会」を年2回開催し、それぞれの学校の情報を交換した。	「千曲型コミュニティスクール関係者連絡会」では、学校教職員だけでなく、それぞれの学校のボランティアの代表者も参加し、グループ討論会を行う中で、自校の取組の様子や成果、課題を話った。	グループ討論会の時間が短かったとの感想が多数あり、その充実を図ることにより、より千曲型コミュニティスクールの発展を図る。	◎	【2-5千曲市型コミュニティスクールの実施割合】 H30に全ての小中学校で千曲型コミュニティスクールをスタートさせたことにより達成済み。	
			教育総務課	いじめゼロ、障がい児との共生等の特色ある学習プログラムの展開 【県連携】	実施中	不登校対策事業	H15	—			○	R1は「新たな不登校を生まない」を重点目標とし、3回の不登校対策委員会を開催する中で、対策を考えてきた。特に第2回不登校対策委員会では、新たな試みとしてグループ討論会を行った。これにより、各校の取組の「うまくいっている点」など横の情報共有を行うことができた。また、教育相談室への相談件数が511件（昨年度270件）と増えており、相談体制の充実も図れた。	不登校を学校単位で考えるのではなく、市全体で対策を考え、それを共有することができたことは有効であったと考えられる。	R2は、千曲市では初となる「おでかけハローアニマル子どもサポート」を実施する。毎月1回、講演会を開催したり、動物と触れ合ったりすることにより、少しでも不登校やひきこもりなどの困難を抱える子どもの支援ができればと考えている。			
					実施中	副学籍事業	H29	—			○	3年目となり、特別支援学校や小中学校では、浸透してきた事業であるが、地域住民にもご理解ご協力いただくため、各区長会において、「副学籍を利用している特別支援学校の児童生徒が、地域の子どもとして、各地域で行う小中学生の行事などに参加しやすい環境づくり」を各区長に依頼した。	副学籍事業を通じて、各小中学校や地域住民との関わり合いができています。	引き続き、各小中学校だけでなく、地域住民にも当事業が浸透していくよう、各区長に依頼していく。特に、今後は、地区子ども会やPTAで計画する地区行事、育成会などで声がけいただける環境づくりを行う。			

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始年度	事業終了年度	着手予定年度	実施延ばした理由、又は実施しない理由	達成状況 (○・○・△・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・△・ー)
2	5	②		子育て世代を惹きつける教育環境の整備												
			教育総務課	どの子にとっても豊かな学びを保障することによって学力向上を図る（魅力ある授業、教育機器の活用、小学校における英語活動の充実、支援の充実等）	実施中	情報教育センター運営事業	H15	—			○	H30に策定した「千曲市学校教育情報化推進計画」をR1.10に改訂し、タブレットの3クラスに1クラス分程度の整備から、一人一台整備への段階的な仕組みを整えた。	学校教育の情報化をよりスピーディーに整備する体制づくりを行うことができた。	GIGAスクールによる各小中学校への無線LAN環境と充電保管庫の整備及び一人一台のタブレット整備を行う。	△	【2-5基礎学力の定着度】 基礎学力の定着はすぐに結果は出ないが、小学校国語は「県よりやや上回る」となり、小学校算数及び中学校は「県と同程度」となった。「県を上回る」という目標を達成することができなかったが、今後一人一台のタブレット導入に伴い授業改善をすることにより、学力の向上を図りたい。
					実施中	小学校外国語指導助手招致事業	H30	—			○	R2から全面实施となる小学校での外国語教育を、1年前倒しし、ALTとのチームティーチングを、5・6年生で年30回、3・4年生で10回、1・2年生で3回行った。 また、ALTを年2回、市内の全公立保育園に派遣し、一緒に歌ったり、踊ったりし、小学校入学前に外国語に慣れ親しむことができた。	1年前倒しで実施したこと、また、入学前の保育園での活動を行ったことにより、いち早く外国語に慣れ親しむことができた。	引き続き、新学習指導要領に沿った外国語教育を行うと同時に、保育園へのALTの派遣回数は、増やしていく。		
2	5	③		「ふるさと」に誇りを抱く教育の推進												
			教育総務課	郷土愛をはぐくむ教育プログラムの推進	実施中	【協働事業】「千曲ふるさと物語の集い」事業	H28	—			○	第4回（協働事業となつてから第2回）となる「稲荷山・桑原・八幡ふるさと物語」を開催した。（地区は、毎年異なる。）観客500人以上が見守る中、地域の歴史や文化を勉強してきた結果を、治田小4-1による「治田ふしぎ発見」、八幡小5-松による「八幡の宝～美しい棚田～」という題材で発表した。	参加した児童からは、「大きな舞台で発表した経験、来場者に喜んでいただいた達成感、地域のことを勉強できた喜び」を感想にあげ、また、来場者からは、「児童の発表のすばらしさ、知らなかった地元のことを知ることができた。」と高評価であった。	R2は、戸倉・更級地区でふるさとを勉強し、「千曲ふるさと物語の集い」で発表する。	◎	【2-5今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合】 学校での活動において、「千曲ふるさと物語」への参加や、コミュニティスクールにおいての地域の方との交流が増えたことにより、地域への行事への参加意欲が増した。
			教育総務課	地域の歴史・文化・資源を活用した教育プログラムの開発・提供												

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																	※黄色セルは進捗率100%超え		
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)						目標値 (B)	H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課				
基本目標2 新しい人の流れをつくる																			
2-5	2-2	千曲市型コミュニティスクールの実施割合	0 %	H28	92.3 %	H28	100 %	H29	100 %	H30	100 %	R1	100 %	R1	92.3 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	教育総務課
2-5		基礎学力の定着度	県とほぼ同程度		県とほぼ同程度	H28	県と同程度	H29	県と同程度	H30	小学校国語 県よりやや上回る 小学校算数 県と同程度 中学校 県と同程度	R1	県を上回る	R1	50.0 %	50.0 %	50.0 %	50.0 %	教育総務課
2-5	2-2	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	84.4 %	H27	84.4 %	H28	82.7 %	H29	80.9 %	H30	85.5 %	R1	85 %	R1	99.3 %	97.3 %	95.2 %	100.5 %	教育総務課

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括										
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)
3				若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる											
3	1			結婚から妊娠・出産・育児に渡る切れ目ない支援											
3	1	①		ワンストップ拠点の設置（千曲市版ネウボラ）											
			健康推進課	結婚から子育てに至る相談に対応できる「ワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）」と調整担当者（コーディネーター）設置による生活の過程（ライフサイクル）に応じた適切な支援の実施【政パ】	実施中	子育て世代包括支援センター事業	R1	—		○	関係機関と月に1回子育てサポート支援会議を実施（支援会議7回、特定妊婦28名支援）	特定妊婦に対して、関係機関と情報を共有し、支援に努めた	子育てサポート支援会議をおこない妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を実施する	△	【子育てについての不安や負担を感じる割合】 子育て世代包括支援センターは令和元年に設置したところであるので、まだ制度が十分浸透していない。
			こども未来課		実施中	子育て世代包括支援センター事業	R1	—		○	特定妊婦（出産後の養育について出産前から支援が必要な妊婦）28名に対して、関係部署が早期からの支援を行うことができた。	早期支援や妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援により、児童虐待予防に繋がりたい。	センター関係部署への専門職の配置や相談支援体制強化も含め、専門性の向上を図る。	△	【3子育てについての不安や負担を感じる割合】は、時代背景に対する質問で、他に「千曲市は子育てしやすい環境か」の質問では、52.9%から61%へ増加している。 子育て世代包括支援センターは令和元年に設置したところであるので、まだ制度が十分浸透していない。
3	1	②		母子保健法等に基づく健診・予防接種等の実施											
			健康推進課	妊婦・乳幼児健診、予防接種、不妊治療への助成（わかば）の実施	実施中	・妊婦一般健康診査 ・乳幼児健康診査 ・不妊治療費助成金交付事業（わかば事業）	・法定 ・法定 ・ H15(戸倉町合併前)	—		○	・合計特殊出生率1.40（R1）は国の値より高い数字を示している(国1.36) ・妊婦一般健康診査利用率は常に80%以上を維持している。 ・各種乳幼児健診については、未受診者にハガキ・電話等により受診勧奨をすることで、95%以上の高い受診率を維持し、妊娠・出産・子育てについて安心につながる支援をおこなっている。 ・不妊治療申請件数は30件前後となっている。	子育て包括支援センターを開設し、安心して子育てができるよう環境の充実を図れた。	妊娠・出産育児にわたる切れ目ない支援のために事業を継続実施する	○	【3】合計特殊出生率 出生数の減少が影響している。 【3-1妊婦一般健康診査受診券利用率】 早産や妊娠届出の遅延が影響するので利用できない場合がある。 【3-1乳幼児健診受診率】 未受診者が次年度に繰り越す場合があるため数%変動する。健診後、未受診者対策をしているため受診率が95%以上で安定している。引き続き未受診者対策を継続していく。 【3-1不妊治療助成件数】 不妊治療の実態把握は難しいため、引き続き広報による啓発を継続していく。

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・－)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・－)
3	1	③		妊産婦・子育て家庭にやさしい地域の形成												
			こども未来課	第三子以上の多子・多胎児等の産前産後の家事育児に困難を抱える家庭へのヘルパーの派遣	実施中	千曲市産前産後ヘルパー派遣事業	H30	－			○	登録者7名 こども家庭相談係により、妊婦とのかかわりがある場合等を活用して、利用の促進を図る。	認知度の向上、利用者側の事業の利用に対して消極的などところが見受けられる。	事業の周知に努め、利用の促進を図る。		
			こども未来課	マタニティタクシー（妊婦のためのタクシー利用）助成	実施中	千曲市マタニティータクシー利用料金助成事業	H27	－			○	利用枚数は20%程度、申請に対する利用者数は、35%程度となっている。	妊娠期の身体的負担・経済的負担の軽減を図れることから、事業利用促進を図る。	子育て施策の一環として事業継続を図る。	△	【3-1マタニティタクシー助成券の有効期限満了時の利用率】 千曲市の現状では、目標値80%は高すぎる設定である。
			こども未来課	おむつ替えや授乳などで立ち寄れる施設を示す「赤ちゃんのSA（仮称）」の指定と整備	実施中	千曲市赤ちゃんサービスエリア(SA)事業	H28	－			○	登録件数：26件増加傾向にある。	徐々にではあるが、事業の問合せ、子育て環境整備に協力をいただける企業が増えている。	子育て施策の一環として事業を継続し、周知を図る。	△	【3子育てについての不安や負担を感じる割合】 制度が十分浸透していないことが実情である。
			保育課	保育所での一時預かり、延長保育の提供	実施中	子ども・子育て支援事業	H27	－			◎	【延長保育事業】利用人数828人、年間利用日数延べ112,738日 【一時保育事業】利用人数79人、延べ年間利用日数695日	共働きの子育て世帯の利用希望者が増加しており、子育て支援につながっている。	延長保育事業、一時保育事業とも継続実施していく。		
			こども未来課	短期宿泊保育（ショートステイ）・夜間保育（トワイライトステイ）のための施設整備	実施中	千曲市子育て支援ショートステイ事業 千曲市子育て支援トワイライトステイ事業	H29	－			◎	ショートステイ事業：登録者数18人、年平均90泊程度 トワイライトステイ事業：登録者数8人、年平均90日程度	保護者の子育てに対する負担軽減となり、子育て環境の整備に寄与している。	必要としている方への周知と、利用促進を図る。	△	【3子育てについての不安や負担を感じる割合】 制度が十分浸透していないことが実情である。
			こども未来課	養育支援・子育て短期支援・ファミリーサポートセンター事業の実施	実施中	千曲市ファミリーサポートセンター事業	H15	－			◎	登録会員数403人（依頼会員267人、提供会員112人、療法会員29人） 活動件数についても、年200件程度	子育て支援体制整備の一環として、安心して子育てできる環境整備に寄与している。	登録会員数を増やし、安心して子育てできる環境の整備を図る。		
			こども未来課	地域子育て支援拠点の運営	実施中	地域子育て支援拠点事業	H15	－			◎	更埴・上山田の2か所で実施 利用者数2,258人/月	社会情勢等の影響で利用者数が減少したが、以前、子育て環境の重要な位置づけとなっている。	安心して子育てできる環境整備の拠点として、事業内容の充実を図る。		
			こども未来課	病児・病後児保育施設整備への補助【先行型】	完了	病児・病後児保育施設整備事業	H27	H27			◎	1施設整備し、登録者数は300人程、年間利用者数は50～100人程	年間を通して需要がある。	利用状況を確認しながら、施設の充実を図る。		

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・―)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・―)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
3	1	④		結婚希望の実現の支援												
			こども未来 課	社協「結婚相談所」との連携による結婚支 援	実施中	社協と委託契約を締結し、相 談員の育成を含め、イベント や講演会などを開催	H16	—			○	出会いイベント、婚活セミ ナーの実施 年平均20件程度のカップルが 成立 登録者数も徐々に増加	出会いの場を提供し、カッ プルが増えることで、圏域の定 住人口の増加に寄与	事業内容を協議し、連携して イベントやセミナー開催など 出会いの機会の充実を図る。	△	【3-1市支援策による婚姻 数】 婚姻数：1 0 組程度/年。 婚姻数は目標値には届か なかったが、登録者数も増加 していることから、継続して実 施し、婚姻数の増加を図る。
			こども未来 課	相談員の講習会等の開催による相談員育成 と助成	実施中	婚活イベント 婚活セミナー	H16	—			○	婚活セミナーや婚活イベント にあわせて研修を実施	定期的な研修が可能	年10人程度の相談員を育成す るため、独自に研修等を実施 予定	△	【3-1市支援策による婚姻 数】 相談員の育成が、直接婚姻数 の増加にはつながらないが、 定期的な研修を今後も実施 し、婚姻数増加の一助としたい。
			こども未来 課	企業間お見合いの仕組みづくり	未実施				—	民間で同様の取組みが行われ ており、市で実施する必要 性が乏しい。						

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）一覧」																	※黄色セルは進捗率100%超え			
具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課	
基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる																				
3	2-1	合計特殊出生率	1. 43	H25	1. 48	H28	1. 48	H29	1. 54	H30	1. 40	R1	1. 56	R1	94. 9%	94. 9%	98. 7%	89. 7%	健康推進課	
3	2-1	子育てについての不安や負担を感じる割合	44. 3 %	H26	データなし %	H28	「千曲市子ども・子育て支援事業計画」次回調査は平成30年度	%	H29	48. 6 %	H30	48. 6 %	R1 (H30実績)	22. 0 %	R1	0. 0%	—	45. 3%	45. 3%	こども未来課
3-1	2-1	妊婦一般健康診査受診券 利用率	94. 2 %	H26	87. 8 %	H28	84. 1 %	H29	87. 38 %	H30	86. 1 %	R1	95 %	R1	92. 4%	88. 5%	92. 0%	90. 6%	健康推進課	
3-1	2-1	乳幼児健診受診率	97. 3 %	H26	97. 2 %	H28	97. 9 %	H29	98. 33 %	H30	96. 8 %	R1	98 %	R1	99. 2%	99. 9%	100. 3%	98. 8%	健康推進課	
3-1	2-1	不妊治療助成件数	30 件	H26	35 件	H28	34 件	H29	33 件	H30	29 件	R1	35 件	R1	100. 0%	97. 1%	94. 3%	82. 9%	健康推進課	
3-1	2-1	マタニティタクシー助成券の有効期限満了時の利用率	9. 7 %	H27	34. 7 %	H28	16. 36 %	H29	17. 27 %	H30	19. 54 %	R1	80 %	R1	43. 4%	20. 5%	21. 6%	24. 4%	こども未来課	
3-1	2-1	市支援策による婚姻数	8 件	H26	5 件	H28	8 件	H29	10 件	H30	5 件	R1	12 件	R1	41. 7%	66. 7%	83. 3%	41. 7%	こども未来課	

3	2			子育て家庭の経済的負担の軽減													
3	2	①		保育料軽減													
			保育課	第2子以降の子の保育料の半額化	実施中	子ども・子育て支援事業	H27	—			◎	対象園児531人、保育料減額分46,207,550円	多子の子育て世帯の経済的支援につながった。	今後も継続実施			

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価		
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
3	2	②		三世代同居・近居の支援												
			建設課	サザエさんプロジェクト（三世代同居のための増築・改築費用の助成、固定資産税の減免）【政パ】	実施中	千曲市三世代同居近居促進事業補助金	H29	—	—	—	○	平成29年度32件、平成30年度52件、令和元年度は38件の申請があった。	平成29年度から平成31年度補助申請者に対しアンケートを実施したところ、三世代同居近居を開始した理由として「親世代に子育てを任せて『共働き』をするため」「親世代の健康状態などの『見守り』を行うため」という理由が多かった。 また、「三世代同居近居を開始したことにより、期待したことを実現できたか」という質問に対して、53名の回答者のうち26名が「十分に実現した」と回答があった。三世代同居近居の支援につながった。	アンケート結果で、補助金があったことを理由に同居近居を開始した人は、53名のうち1名だけだった。この結果を受けて、事業内容や継続実施等について検討していく。	○	【3-2三世代同居・近居のための補助事業の利用件数】 平成29年度…32件 平成30年度…52件 令和元年度…38件 ホームページやポスターなどで制度について十分に周知できたため
			建設課	近居のための引っ越し費用、家賃等への補助【政パ】	未実施				—	民間賃貸住宅は山間地域より市街地中心に多く立地している。家賃補助事業を実施した場合、居住地によって支援に格差が生じるため実施しない。						
3	2	③		住宅取得の支援												
			建設課	子育て支援を目的とした低金利住宅ローンとの提携【金融機関】	実施中	フラット35 子育て支援型	平成29年度	—			○	住宅金融支援機構と協定を結んだ。	H29年度2件、平成30年度6件、平成31年度3件の申請があったが、子育て支援に寄与できたかは不明。	今後の事業方針を考えるためにアンケート等の実施を検討する。	◎	【子育て支援型住宅向け金融商品との連携件数】 平成29年度に住宅金融機構と協定を結び継続しているため。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																			※黄色セルは進捗率100%超え			
具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)						目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課					
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる																						
3-2	2-1	三世代同居・近居のための補助事業の利用件数	0 件	H27	0 件	H28	20 件	H29	32 件	H30	38 件	R1	40 件	R1	0.0%	50.0%	80.0%	95.0%	建設課			
3-2	(2-1)	子育て支援型住宅向け金融商品との提携件数	0 件	H25	未着手	H28	1 件以上	H29	1 件	H30	1 件	R1	1 件以上	R1	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	建設課			

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)				(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価
					実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施しない理由	達成状況 (○・○・△・―)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・△・―)	関連KPIの目標達成・非達成理由
3	3			協働による子育てコミュニティサイトの構築												
3	3	①		コミュニティサイトの設計・構築												
			こども未来課	子育て関係サークル等の代表者による実行委員会形式でのサイト設計	未実施				—	子育て応援アプリの運用を行っているため、当面は予定なし						
			こども未来課	NPO等への委託によるサイト運営	実施中	千曲市子育て応援アプリ	H27	—			○	(例)MTIと業務委託契約を締結 現登録者数は695人	子育て情報の発信に貢献	事業継続	—	【3-3コミュニティサイトの訪問回数】 事業を「子育て応援アプリ」に移行したことから、測定不能 20件/日の訪問者数
3	3	②		出産・子育て中の市民を対象とした情報提供												
			こども未来課	千曲市の子育てに関する情報を一元化し、フェイスブック記事や情報誌として発行	実施中	子育て情報の発信	H27	—			◎	子育て関連情報の一元化を図ることで、アプリから簡単に情報を得ることができる。	加入者も増加傾向にあり、必要な情報の充実を図る。	子育て支援センターを中心に、情報発信に努める。	△	【3-3年間フェイスブック記事延べアップ数】 約50件の情報掲載 目標値の設定は見直しが必要
3	3	③		子育て相談・交流の場の提供												
			こども未来課	子育てサークル関係者及び専門家による相談の実施（子育て世代包括支援センター）	未実施				—	行政による関係機関で構成する子育て世帯包括支援センターの開設済み 子育てサークル関係者も含めた相談機関については、予定なし						
			こども未来課	コミュニティサイト上での相談受付と対応	未実施				—	新たなシステムを構築する必要性と費用対効果から判断し、実施しない。						
			こども未来課	子育てサークル活動の支援（活動経費の一部助成）【先行型】	実施中	千曲市子育て支援活動費補助事業	H27	—			○	子育てサークル2組の活動支援	子育てサークルの活動支援として有効	事業継続	△	【サークル補助金申請数】 年平均2件程度の実績だが、市内の補助対象団体が現在10団体程であるため、目標値の見直しが必要。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																			※黄色セルは進捗率100%超え				
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課					
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる																							
3-3	(2-1)	コミュニティサイトの訪問回数	0 回	H27	0 回	H28	0 回	H29	子育て支援アプリ登録者375件	回	H30	子育て支援アプリ登録者552件	回	R1	10,000 回	R1	0.0%	—	—	こども未来課			
3-3	2-1	年間フェイスブック記事延べアップ数	0 回	H27	28 回	H28	7 回	H29	42 回	H30	2 回	R1	150 回	R1	18.7%	4.7%	28.0%	1.3%	こども未来課				
3-3	2-1	サークル補助金申請数	2 件	H27	2 件	H28	2 件	H29	1 件	H30	2 件	R1	10 件	R1	20.0%	20.0%	10.0%	20.0%	こども未来課				

基本 目標	具体 的施 策	具体 的な 取組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)				(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価
					実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
3	4			仕事と生活の調和の実現												
3	4	①		女性が安心して生活し活躍できる地域の形成												
			人権・男女 共同参画課	男女共同参画セミナー、講演会等を開催し、市民や企業の理解を深める	実施中	男女共同参画事業	H18	ー			○	男女共同参画セミナーに一定以上参加して修了証が交付された者の有志が9名集まり男女共同参画を推進する任意団体を組織し、平成30年度に発足した。	セミナーを通して男女共同参画を推進する団体が組織されたことは評価できる。	引き続き男女共同参画セミナー、講演会等を開催し、市民や企業の理解を深めるための啓発を行う。		
			人権・男女 共同参画課	①女性管理職の増 ②女性就業率アップ ③女性の就業支援【政パ】	実施中	男女共同参画事業	H16	ー			○	千曲市企業人権連絡会の会員(90社)に「えるぼし認定」のチラシを配布し働きかけた。	チラシの配布により働きかけをしたが実態把握はできていない。	意識改革に向けた啓発のみ実施するが関係部署と具体的な取組の検討が必要である。		
3	4	②		仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の実現の啓発												
			人権・男女 共同参画課	事業所に対する労働法・育休制度の普及啓発のための研修会の開催	実施中	男女共同参画事業	H30	ー			○	千曲市企業人権連絡会の会員(90社)に「くるみん認定」のチラシを配布し「育休制度」の普及啓発を実施。	チラシの配布により働きかけをした。	意識改革に向けた啓発のみ実施するが関係部署と具体的な取組の検討が必要である。	○	【3-4父親・母親の育児・介護休業取得】 母親が目標達成したのは、啓発に一定の効果があったからだと思われる。 しかし指標の元になった調査は、調査数が少なく、そのつど調査対象が変わり、評価が難しいため、指標の変更を検討する必要がある。
			人権・男女 共同参画課	仕事と生活の調和（ワークライフバランス）に理解のある事業所、取組等の紹介	実施中	男女共同参画事業	H30	ー			○	千曲市企業人権連絡会の会員(90社)に「イクボス・温かボス宣言」「えるぼし認定」「くるみん認定」のチラシを配布し「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」の取組の紹介をした。	チラシの配布により働きかけをしたが実態把握はできていない。	意識改革に向けた啓発のみ実施するが関係部署と具体的な取組の検討が必要である。		
3	4	③		女性・子育てに優しい事業所や取組の広報												
			人権・男女 共同参画課	子育て世帯に理解のある事業所、イクメン等の紹介と広報	実施中	男女共同参画事業	H29	ー			○	千曲市企業人権連絡会の会員(90社)に「イクボス・温かボス宣言」「社員の子育て応援宣言」「くるみん認定」のチラシを配布し「子育て世帯に理解のある事業所」の紹介と広報を行った。	チラシの配布により働きかけをしたが実態把握はできていない。	意識改革に向けた啓発のみ実施するが具体的な取組の検討が必要である。	△	【3-4「社員の子育て応援宣言」登録企業数】 企業へのアピールが十分でなかった。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」

※黄色セルは進捗率100%超え

具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課						
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる																									
3-4	2-4	父親・母親の育児・介護休業取得	父 母	0.1 % 9.9 %	H26	父 母	0.1 % 9.9 %	H28	父 母	0.1 % 9.9 %	H29	父 母	0 % 17.7 %	H30	父 母	0 % 17.7 %	R1 (H30実績)	父 母	2.0 % 10.0 %	R1	5.0 % 99.0 %	5.0 % 99.0 %	0.0 % 177.0 %	0.0 % 177.0 %	人権・男女 共同参画課
3-4	2-4	「社員の子育て応援宣言」登録企業数	17 社		H27	25 社		H28	25 社		H29	28 社		H30	24 社		R1	56 社		R1	44.6 %	44.6 %	50.0 %	42.9 %	人権・男女 共同参画課

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価		
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
4				時代に合った地域をつくり地域連携を進める												
4	1			新幹線新駅設置等による交流拠点機能の強化												
4	1	①		新幹線新駅設置の促進と広域交流機能・産業機能の導入												
			総合政策課	敦賀駅開業（H34年度）にあわせた新幹線駅開設の促進	未実施	新幹線新駅誘致運動	平成4年度	平成29年度	—	平成29年度誘致運動に区切り				【新幹線新駅設置の実現】 平成29年度誘致運動に区切りが付いたことから測定不能		
			地域開発推進室	駅周辺エリアのゲートシティとしての機能強化（パーク&ライド等）	未実施				—	新幹線新駅構想の破綻により検討中止						
			地域開発推進室	交流拠点における都市的土地利用の推進	実施中	土地区画整理事業化検討	H29	—			△	高度な土地利用を促進する道路（一重山2号線）の整備に着手（R2～）	基盤整備により、周辺部での開発機運の醸成がはかれる	開発手法を地権者とともに決める		
4	1	②		スマートインターチェンジの新設促進と機能強化												
			地域開発推進室	上信越道へのスマートIC新規設置の促進	実施中	(仮称)屋代スマートICの設置検討 一重山2号線の事業化検討	H28	—			○	SIC設置構想に対する国の理解(整備効果)	整備費の課題解決で準備段階調査に進める	残された課題である整備費のさらなる圧縮を進める		
			建設課	姨捨スマートインターチェンジのフルタイム化	実施中	姨捨スマートIC整備事業	H18				○	H28年度利用交通量 370,532台 H29年度利用交通量 388,494台 H30年度利用交通量 409,461台 R元年度利用交通量 410,439台 毎年度利用台数が増加しているが、24時間化した後も利用台数が増加し、令和元年度は過去最高の利用台数になった。	24時間化については、冬期における除雪が課題となっていたが、除雪体制の整備を行い、24時間化の進展に寄与した。	フル規格化推進に向けた段階的整備のうち、24時間化が実現した。続いて第2段階の全車種適用に向け、調査・研究を重ね、関係各所と協議していく。	◎	【4-1姨捨スマートICの利用台数】 除雪体制の整備に取り組んだことにより、冬期であっても安定して利用台数を維持できたことが理由であると考えられる。
4	1	③		幹線道路・市道の整備・改良												
			建設課	新国道18号バイパスの早期全線開通の促進	実施中	新国道建設促進事業	S60	—			○	上田市・坂城町・千曲市・長野市が加盟する「新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会」で国に新国道上田篠ノ井間の早期建設を要望した。また、千曲市単独でも国に坂城更埴バイパスの早期建設を要望し、バイパス関係で年間に複数回の要望活動を実施している。 坂城更埴バイパス3工区（千曲市稲荷山～長野市篠ノ井塩崎）の当初予算 H29年度 7.8億円 H30年度 14億円 R元年度 10.65億円 R2年度 8.6億円 年間10億円程度の予算確保ができている。	同盟会、市単独と年間で複数回の要望活動が行えたことと、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の事業費として最近3年は比較的大きなバイパス事業予算が割り当てられた。しかしながら、事業進捗状況は遅く、更なる要望活動が必要となる。	今後も引き続き事業化区間の建設促進、及び未事業化区間の早期事業化を要望していく。 また、道路事業費に予算が割り当てられるような要望も行っていく。		

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括												
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針					KPI評価	
					実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由	

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																			※黄色セルは進捗率100%超え					
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課						
基本目標 4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める																								
4		新幹線駅設置の実現	-		-	H28	-	H29	-	H30	-	R1	平成34年までの設置を目指す	R1					総合政策課					
4		中心市街地居住者の生活利便性	「住みやすい」と回答した割合（屋代、埴生、戸倉、上山田小学校区）18.7%	H27	23.7 %	H28	23.4 %	H29	調査項目なし	H30 (H29実績)	調査項目なし	R1	H27年度比1割増 20.6	R1	115.0%	113.6%	—	—	産業振興課					
4-1	(1-1)	焼捨スマートICの利用台数	347,099 台	H26	370,532 台	H28	388,494 台	H29	409,461 台	H30	410,439 台	R1	375,000 台	R1	98.8%	103.6%	109.2%	109.5%	建設課					

4	2			都市の再構築によるエリア再生															
4	2	①		時代に対応した市土地利用の再設計															
			都市計画課	立地適正化計画の策定による再設計【政バ】	完了	立地適正化計画策定事業	平成27年度	平成28年度			○	・居住誘導区域の設定 ・都市機能誘導区域の設定 ・誘導施設の設定	本計画は、行政・市民・民間事業者が一体となって、コンパクトなまちづくりに取り組み、持続可能な地域社会を形成していくための土台となる計画である。 人口減少に即した効率的な都市構造を構築することにより、市民の財政負担を抑えるとともに、市民サービスの低下を防ぐことができると考える。	必要に応じて計画の見直しを行う。					
4	2	②		人口・既存ストック集中地域の再生															
			都市計画課	都市再生整備計画に基づく再開発、施設再配置、誘客促進【政バ】	完了	杭瀬下地区都市再生整備計画事業	平成28年度	令和元年度			○	・シティホール広場（ガレリア、こもれびテラス）の整備 ・立体駐車場の整備 ・東西連絡通路の整備 ・千曲線のバリアフリー整備	新市庁舎の建設を契機に、多様な都市機能がコンパクトに集積した都市構造へ転換することができた。 イベントや文化活動、市民交流等の多目的に使用可能な施設の設置により、都市機能の充実と地域コミュニティの活性化を推進した。						
4	2	②	産業振興課	中心市街地活性化基本計画の策定と商店街の空き店舗等活用の促進【政バ】	実施中	商店街空き店舗等活用事業	計画期間 H29～R3	—			○	・中心市街地活性化基本計画の策定 ・空き店舗活用は目標8件に対し実績11件と、目標値を上回る助成金の利用があった。	・助成金が出店者が商店街の空き店舗を選択する動機の一つとなっています。	・中心市街地活性化基本計画については計画期間終了後のあり方について検討します。 ・助成金については営業時間の制限など、条件の見直しを行いつつ引き続き実施します。	◎	【商店街空き店舗等活用事業（改修費）助成金交付件数】 空き店舗を利用する創業者が多く、空き店舗見学会し活用を促した。			
4	2	②	産業振興課	中心市街地まちなか再生支援（専門家人材活用支援・市民協働賑わい創出支援）【先行型】	実施中	中心市街地活性化事業	H29	—			○	中心市街地活性化戦略会議の設置	戦略会議ではまちづくり専門人材を活用し、にぎわいの創出事業を企画しイベントを行っています。	まちなかの再生・にぎわい創出は難題ですが継続します。	○	【中心市街地居住者の生活利便性】 地域経済が堅調で、創業者数が多く空き店舗が活用された。			
4	2	②	産業振興課	市街地活性化拠点施設の支援（商工会議所への補助：観光案内、千曲ブランド商品・特産品等展示販売の運営補助）【先行型】	実施中	ウエルカムステーションの支援	H22	—			○	屋代駅ウエルカムステーションの支援	食品工場で作られたあんず製品などの特産品を販売するなど、特徴がある拠点となっています。	千曲商工会議所で運営し、市でも一部を財政支援していますが、経営は厳しい状況です。					

「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 事業評価

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価		
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・―)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・―)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
4	2	③		危険空き家対策の推進												
			建設課	特定空き家の解消、相談窓口整備、コミュニ ティ振興対策事業への新たなメニュー化 【政バ】	実施中	・ 空家等の情報の整備（地図 会社から空き家データ買取 り） ・ 現地調査の実施 ・ 相談窓口の整備	H25	—			◎	・ 空家等に関するデータベ ースの整備を実施（令和元年 度） ・ 現地調査実施（随時） ・ 相談窓口の整備	空家等に関するデータベ ースの整備を実施したことで、空 家等の情報を把握しやすくな った。相談窓口の整備も含 めて、相談者への対応がス ムーズにできている。	現在把握している危険性のある 空家等に対し倒壊等の危険 性を把握（令和2年度実施 中）する。倒壊の危険性が高い 空家等については特定空家 等の認定や助言・指導等の実 施等を検討し、危険空き家対 策の推進をしていく。		
4	2	④		公共交通網の最適設計と利用促進												
			生活安全課	公共交通網形成計画策定による公共バス交 通の利便性向上と利用促進【政バ】	実施中	・ ダイヤ改正 ・ バスの乗り方教室（高齢 者・小学生） ・ 車両更新（バリアフリー） ・ バス停ベンチの設置	R1	—			△	大循環線の利用者が約400人 ／月 減少してしまったが、ほ かの路線は微増（100～200 人／月）した。	無駄な運行を抑えるために、 乗換が必要となった地域が増 え、変化に伴う利用者減が見 られた。	引き続き、乗換を中心とした ダイヤ改正やバスの乗り方教 室を実施し、利便性向上を図 る。	△	【公共バス利用者数】 新型コロナウイルスの影響で3 月の利用者数が全体で2,300 人ほど減少したため。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」														※黄色セルは進捗率100%超え					
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課	
基本目標 4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める																			
4-2	1-3	商店街空き店舗等活用事業（改修費）助成金交付件数	2 件	H27	1 件	H28	3 件	H28～H29	6 件	H28～H30	11 件	H28～R1	8 件	R1	12. 5%	37. 5%	75. 0%	137. 5%	産業振興課
4-2	1-1	公共バス利用者数	131, 961 人	H26	118, 511 人	H28	117, 036 人	H29	118, 211 人	H30	114, 433 人	R1	148, 000 人	R1	80. 1%	79. 1%	79. 9%	77. 3%	生活安全課
4-2	(1-3)	屋代駅乗降客数	4, 396 人	H26	4, 201 人	H28	4, 349 人	H29	4, 303 人	H30	4, 207 人	R1	4, 650 人	R1	90. 3%	93. 5%	92. 5%	90. 5%	生活安全課

4	3			歴史・文化資源を活かした交流拠点の形成													
4	3	①		稲荷山の伝統的建造物群の保全と活用													
			歴史文化財 センター	重伝建保存事業、買上事業、歴史的風致維持向上計画	実施中	稲荷山重要伝統的建造物群保存地区保存事業	H26	—			○	修理事業7件 修景事業2件	修理・修景事業を実施することにより、伝統的な建造物が本来の姿を取り戻すことができた。	引き続き、稲荷山地区の伝統的建造物等の修理・修景事業に対する補助を実施する。	△	【4-3建造物修理・修景事業】 修理に対する自己負担額が課題。	

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価		
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
4	3	②		既存施設を活かした拠点づくり												
			文化課	稲荷山宿「蔵し館」、ふる里漫画館等の既存施設の活用	実施中	・稲荷山宿・蔵し館 アロマ ワックスカップ講座 ・ふる里漫画館 ハーバリウ ム講習会 ・稲荷山宿・蔵し館 おはな しとおんがくのコンサート	H30	—			○	各事業毎10名～40名程度の参 加。	・小規模な企画だが、初めて 利用される方もおり、施設の PRとなった。 ・自分でも蔵し館を借りたい 等意見をいただき、PRとなっ た。	企画展を計画する必要がある が、新規利用者開拓のために 続けたい。	△	【4-3「蔵し館」の入場者 数】 【4-3「ふる里漫画館」の入 場者数】 稲荷山宿・蔵し館：目標値 3,000人 ふる里漫画館：目標値2,000 人 それぞれ、目標値には及ば ず、進捗率50%前後で推移し ている。新規利用者開拓のた め、実施してきているが、こ れから企画展も実施してい きたい。
			観光交流課	滞在時間延長となる拠点づくり（蔵を改修したゲストハウス等）	実施中	観光局による着地型旅行商品の造成	H29	—			○	既存商品のブラッシュアップ に加え、新たな商品造成を実 施。本年度造成商品 1 件	広域連携による独自の商品造成に取組み、魅力ある商品数を増やす。	旅行業 2 種資格を取得したこと で、より旅行者のニーズに 沿った商品造成が可能になる ことから、更なる商品造成が 期待できる。	△	【4-3蔵等の改修利用棟数 （ゲストハウス、カフェ、み やげ店等）】 19号台風・新型コロナの影響 により振るわなかった。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」															※黄色セルは進捗率100%超え										
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)			H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課						
基本目標 4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める																									
4-3	5-3	建造物修理・修景事業	修理 修景	1 件 0 件	H27	修理 修景	3 件 0 件	H28	修理 修景	6 件 0 件	H29	修理 修景	6 件 1 件	H30	修理 修景	7 件 2 件	R1	修理 修景	13 件 7 件	R1	23.1% 0.0%	46.2% 0.0%	46.2% 14.3%	53.8% 28.6%	歴史文化財 センター
4-3	(5-1)	「蔵し館」の入場者数		1,749 人	H26		1653 人	H28		1,654 人	H29		1,322 人	H30		1,366 人	R1		3,000 人	R1	55.1% 55.1%	44.1% 45.5%		文化課	
4-3	(5-1)	「ふる里漫画館」の入場者数		1,552 人	H26		1650 人	H28		1,461 人	H29		1,650 人	H30		1,322 人	R1		2,000 人	R1	82.5% 73.1%	82.5% 66.1%		文化課	
4-3	5-1	蔵等の改修利用棟数（ゲストハウス、カフェ、みやげ店等）		0 件	H27		0 件	H28		0 件	H29		2 件	H30		1 件	R1		4 件	R1	0.0% 0.0%	50.0% 25.0%		観光交流課	

4	4			公共施設及びインフラの更新・統廃合・長寿命化の推進															
4	4	①		時代に対応した公共施設マネジメントの推進															
			財政課	公共施設等総合管理計画の策定【政バ】	完了	公共施設等総合管理計画策定	H26	H27			○	30年間（2044年度まで）の公共施設マネジメントに取り組む計画とし、公共施設の総量を30年間で13%縮減する目標とした。 また、施設類型ごとの方向性を示す「再編計画」を策定した。（H30年度）	公共施設総量の縮減目標値を定めた具体的な計画とすることができた。	計画に基づき、公共施設マネジメントに取り組んでいく。					
			財政課	公共施設等総合管理計画に沿った新・統廃合・長寿命化等の推進【政バ】	実施中	公共施設の再編	H27	—			○	総合管理計画、再編計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対策や実施時期などをまとめた「個別施設計画」の策定作業に取り組んだ。（R2年度までに策定）	個別施設計画策定に向け、職員研修会を行ったことにより、職員の意識付けができた。	R2年度中に個別施設計画を策定し、計画的に更新・統廃合・長寿命化等を推進していく。	○		【4-4公共施設の保有量】 庁舎建設等で一時的に延床面積が増えているが、今後は個別施設計画に基づき総量縮減に努めていく。		

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)
4	4	②		時代に対応したインフラ・マネジメントの 推進												
			建設課	橋梁長寿命化修繕計画に基づく計画的修繕 【政パ】	実施中	橋梁長寿命化修繕計画	H25	—			○	長寿命化修繕計画に基づき19 橋の長寿命化修繕工事を実 施。（H26～28年度）	修繕工事を実施した橋梁につ いて再点検した結果、健全性 の改善が確認された。	H26～H30年度の法定点検結 果により、R1年度に長寿命化 修繕計画を見直し、必要な修 繕工事を順次実施する。		

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																	※黄色セルは進捗率100%超え		
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)	H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課		
基本目標 4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める																			
4-4	6-2	公共施設の保有量	225,925㎡		227,440㎡	H28	211,549㎡	H29	228,781㎡	H30	239,984㎡	R1	2%の縮減	R1	97.3%	104.7%	96.8%	92.3%	財政課

4	5			地域防災の充実強化													
4	5	①		市民主導による防災体制の構築													
			危機管理防災課	住民主導型土砂災害警戒避難体制づくりの推進	実施中	土砂災害警戒避難体制づくり支援事業	H26	—			○	土砂災害防災マップの作成（6地区作成済）と土砂災害防災訓練の実施	本事業を通じて、住民が土砂災害時の避難方法や地域の危険箇所について再確認するきっかけを作ることができた。	土砂災害警戒区域が含まれる区を対象に実施。			
			危機管理防災課	消防団サポートショップの充実	実施中	千曲市消防団サポートショップ事業	H26	—			○	事業の趣旨を理解し、消防団を応援してくれるサポートショップ数も増加した。（4件⇒18件）	令和元年に目標数を達成し、地域のため日々活動している消防団員及び家族へのメリットとして一定の成果があった。	引き続き事業を継続し、新規サポートショップを増加していく。	◎	【4-5消防団サポートショップ加入数】 消防団の活動及び本事業の趣旨を理解いただき、目標数を達成できた。	
			危機管理防災課	消防団、婦人消防隊、救命講習等の活動支援	実施中	消防団員、婦人消防隊員等救命講習事業	H16	—			○	平成16年度より消防団年間事業としてAED講習会を実施。また、婦人消防隊員対象の三角巾講習会についても実施し救命措置等の基礎知識を習得した。	年間50名を超える受講者があり、消防団員、隊員の資質の向上が図られている。	一人でも多くの受講を目指し、消防団員、隊員を経験した誰もが救命措置等の基礎知識を習得できるよう継続していく。	○	【4-5消防団員数】 本事業やその他訓練等により、さまざまな知識を身につけ、地域から信頼されることにより、地域への人脈が創り上げられる。	
4	5	②		消防団への支援と地域との連携による防災力強化【政パ】													
			危機管理防災課	消防団の魅力をPR	実施中	消防団員募集広報事業	H23	—			○	募集ポスター、映像によるケーブルテレビでの広報により新入団員の確保が見込めた。	募集ポスターの掲示、ケーブルテレビでのCMにより一定程度の成果があった。	地道に継続していくことにより団員減少に歯止めをかけていく。	○	【4-5消防団員数】 団員募集を広くPRしていくことにより団員数の大幅な減少を避けることができている。	
			危機管理防災課	消防団加入者への特典（サポートショップ等）の提供	実施中	千曲市消防団サポートショップ事業	H26	—			○	サポートショップ事業により団員特典ができ、家族から消防団活動への理解がより得られた。	消防団を応援する市内事業所の特典を提供することにより人と人との繋がりが増え地域活性化の一助となっている。	引き続き事業を継続し、より多くの市内事業所の協力を得ることにより地域の活性化を目指す。	○	【4-5消防団員数】 家族を含めた特典もあるため、家族と利用することにより、多くの時間を消防団活動に従事している団員が家族と過ごす時間の一助となっている。	
			危機管理防災課	自主避難体制の構築	実施中	防災意識啓発事業	不明	—			○	・毎年、全地区で防災訓練を実施。 ・防災に関する出前講座の実施。	防災訓練や出前講座の実施により、住民が災害時の対応と知識を身につけるための一助となっている。	引き続き事業を継続し、地域防災力の向上を図る。			

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
					実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
			危機管理防 災課	マンホールトイレ設置、AED講習、屋外告 知放送等の整備	実施中	防災体制整備事業	不明	—			○	・マンホールトイレを市内12 小中学校60基設置 ・防災行政無線（同報系）の 整備 子局総数120カ所（無線化 の子局52カ所 ） ・戸別受信機を指定避難所、 要配慮者利用施設及び災害時 品行動要配慮者宅に設置	避難所となる市内小中学校へ のマンホールトイレの整備や 屋外告知放送のデジタル化に より防災体制の整備を図るこ とができた。	防災行政無線（移動系）の整 備により災害時における行政 機関内での情報共有体制を強 化する。		
			危機管理防 災課	女性意見の反映促進	実施中	防災対策への女性参画事業	不明	—			○	・防災会議委員 女性 4 名 ・国民保護協議会委員 女性 3 名	防災会議や国民保護協議会に 女性が参加することで、女性 の視点に配慮した防災体制の 整備を図ることができている。	引き続き事業を継続し、女性 の視点に配慮した防災体制の 整備を図る。		

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																	※黄色セルは進捗率100%超え		
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課	
基本目標 4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める																			
4-5	4-1	消防団サポートショップ加入数	4 店	H26	14 店	H28	14 店	H29	14 店	H30	18 店	R1	14 店	R1	100. 0%	100. 0%	100. 0%	128. 6%	危機管理防災課
4-5	4-1	消防団員数	806 人	H26	824 人	H28	794 人	H29	786 人	H30	785 人	R1	817 人	R1	100. 9%	97. 2%	96. 2%	96. 1%	危機管理防災課

4	6			広域連携による施策の推進													
4	6	①		長野市との連携協約に基づく施策の推進 【政パ】													
			総合政策課	長野市との連携による千曲市の経済・交通・教育・福祉の振興、充実・向上等に資する事業の推進	実施中	長野地域連携中枢都市圏ビジョン	平成28年度	—			◎	千曲市が連携協約に基づき推進する事業数は年々増加（29事業→33事業）し、KPI達成。	効果・コスト削減観点から広域連携して取り組む方が良いと思われる事業を所管課と協議し、連携事業数が増加している。所管課において各事業を推進している。	連携都市圏の将来像・課題解決に繋がるよう、連携事業数の増加を目指すとともに、各事業毎の成果を精査し事業を推進する。	◎	【4-6連携事業数】各事業の所管課と綿密な打ち合わせをすることで、連携事業数が増加し、KPIを達成することができた。	

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																	※黄色セルは進捗率100%超え		
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課	
基本目標 4 時代に合った地域をつくり地域連携を進める																			
4-6	6-3	連携事業数	—	H26	29事業	H28	30事業	H29	31事業	H30	33事業	R1	31事業	R1	93.5%	96.8%	100.0%	106.5%	総合政策課

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
5				健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める												
5	1			中高年が楽しみながら健康になれるスポーツのまちづくり												
5	1	①		日常的な身体活動量をあげる「すこやかちくま」の推進												
			スポーツ振興課	ウォーキング、筋トレ等の日常的な身体活動習慣の定着促進	実施中	・スポーツ教室運営 ・スポーツ推進委員会運営 ・総合型スポーツクラブの支援・育成	継続	—			○	スポーツ教室運営委託では、NPO法人千曲市スポーツ協会にて小学生から社会人までの市民が気軽に参加できるスポーツ教室を12講座開催した。令和元年度の参加者数は延べ3,000人余りであった。また、スポーツ推進委員主催で市民誰もが参加できる催しとして、ワンバウンドふらばーるバレーの体験会（参加者数延べ300人）及び体力測定（総合型主催分と合わせて参加者数延べ100人）を開催した。総合型スポーツクラブと連携し、体力測定を行った。	スポーツ教室はバスケットボールやバドミントンなど、種目別に教室を開催したが、参加者が少ない種目も見受けられた。ワンバウンドふらばーるバレーの体験会は年配の女性の参加が多く見受けられた。スポーツ推進委員及び総合型スポーツクラブ主催の体力測定は、自身の体力を把握できる良い機会となったと考える。	スポーツ教室については、種目別にスポーツを楽しむ場を確保する目的で引き続き市民に提供していきたいが、周知に工夫が必要と考える。スポーツ推進委員の活動は、委員の創意工夫を凝らし、普段スポーツをしてこなかった市民の参加を促す。総合型スポーツクラブに対し、会員数の増加に向け支援することで、市民がスポーツを楽しめる場を確保することにつなげる。	△	【5-1成人の運動実施率】 前回調査時（平成25年）の数値も下回る結果となった。特に、20代から40代女性と30代から40代男性の運動実施率が低く、計画期間におけるスポーツ振興施策が、この階層に対しては効果が低かったからと考えられる。
			健康推進課	個人の体力や生活習慣に応じた健康づくりへの個別支援	実施中	特定保健指導にて支援	H22年度	—			○	特定保健指導92.1%実施	運動習慣者の割合の増加 20～64歳 男性30.7%女性18.8% 65歳以上男性38.9%女性44.1%	引き続き保健指導時に運動習慣や生活習慣の振り返り、目標を立てて取組を推進していく。	○	【5-1運動習慣のある市民の増加】健康アップ千曲の中間評価時（H28年度データ）と比較した達成率は20～64歳の男性、女性ともに100%以上、65歳以上男性89%女性100%以上だった。特定保健指導の際、生活習慣、運動習慣の振り返りを行い、改善への取り組みを推進しているが、65歳以上の男性の運動習慣定着までは至っていない。
5	1	②		ジョギングの普及による健康増進の支援												
			スポーツ振興課	千曲川ハーフマラソン、おばすてマラソンの開催	実施中	千曲ラン	H29	—			○	H31年度に白鳥園の指定管理者と連携し、夏と冬の気候が厳しい時期を除き月に2回ほどランニングイベントを開催した。参加者数は延べ300人ほどであった。	千曲川沿いの自転車道を中心としたランニングコースは平坦で見晴らしもよくランナーからは好評を得ている。このコースを千曲市の資源の一つととらえ、温泉とセットで楽しんでもいただくという取組は、市民の運動実施率の向上とそれに伴う健康増進、さらには観光振興にもつながると考えられる。	千曲ランのさらなる発展のため、旅館など観光分野をはじめとした様々な民間事業者を巻き込んで事業を継続していきたい。また、市民に対して身近なスポーツ環境に目を向けていただくよう周知を図る。	△	【5-1成人の運動実施率】 千曲ランの取組は始まってから間もないこともあり、成人の運動実施率向上につながるまでには至っていない。
			スポーツ振興課	ノルディックウォークやインターバル速歩等の普及と健康イベントの開催	未実施				—	当初、高齢者向けスポーツ振興策として本事業を計画したが、高齢者は総合型スポーツクラブの利用や自主的なウォーキング、マレットゴルフ等により運動実施率が高かったことから、課主体の事業としては実施せずに、総合型スポーツクラブの支援等により高齢者の運動実施率向上を目指すこととした。	△			高齢者の運動実施率向上のためには、社会体育施設の適切な維持管理を通じて、スポーツをする場を確保することが重要である。併せて、総合型スポーツクラブの支援や情報発信を通じて、高齢者でも気軽にスポーツに触れられる環境整備をすすめる。	△	【5-1成人の運動実施率】 前回調査時（平成25年）の数値も下回る結果となった。70代以上の男女の運動実施率50%を超えており他の年代に比べて高いものの、目標の65%には届いていないため、総合型スポーツクラブの支援や情報発信を通じて、気軽にスポーツに触れられる環境整備をすすめる。

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価		
						実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始年度	事業終了年度	着手予定年度	実施延ばした理由、又は実施しない理由	達成状況 (○・○・△・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・△・ー)
5	1	③		身体機能維持・向上のための場の整備												
			都市計画課	白鳥園等の公共施設や市内公園での健康遊具の整備と活用	実施中	上徳間公園（仮称）整備事業	H30	—			○	健康遊具2基を設置した。（懸垂・平行棒）	健康遊具の設置を推進しているものの、健康遊具を活用した運動等の周知は不十分であると認識している。	公園に設置されている健康遊具の利用方法等を市ホームページや広報等で周知を行い、活用を促進をする。 また、新規整備予定の公園に関しては、引き続き健康遊具設置を推進していく。	—	【5健康寿命】 健康遊具を活用した運動の周知等が不十分であり、健康寿命の延伸を達成することができなかった。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																				※黄色セルは進捗率100%超え				
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)										目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課				
基本目標 5 健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める																								
5		健康寿命	男性 64.8 歳	H22	男性 64.8 歳	H28	男性 64.8 歳	H29	男性 64.8 歳	H30	男性 64.8 歳	R1	延伸	R1	→	→	→	→	健康推進課					
			女性 67.4 歳		女性 67.4 歳		女性 67.4 歳		女性 67.4 歳		女性 67.4 歳													
5		平均寿命（男性）	80.2 歳	H22	80.2 歳	H28 (H22)	82.1 歳	H29 (H27)	82.1 歳	H30	82.1 歳	R1	延伸	R1	→	100.0%	100.0%	100.0%	健康推進課					
5		平均寿命（女性）	87.7 歳	H22	87.7 歳	H28 (H22)	88.0 歳	H29 (H27)	88.0 歳	H30	88.0 歳	R1	延伸	R1	→	100.0%	100.0%	100.0%	健康推進課					
5		市政の「高齢者福祉」に対する不満	11.8 %	H27	12.6 %	H28	14.0 %	H29	20.8 %	H30	20.6 %	R1 (R2調査)	低下	R1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	高齢福祉課					
5		誰もが安心して暮らせる地域になっていると感じる市民の割合	47 %	H27	データなし %	H28	データなし %	H29	データなし %	H30	データなし %	R1	上昇	R1	—	—	—	—	高齢福祉課 福祉課					
5-1	3-2	運動習慣のある市民の増加	37.5 %	H26	37.7 %	H28	37.0 %	H29	36.7 %	H30	37.3 %	R1	39.0 %	R1	96.7%	94.9%	94.1%	95.6%	健康推進課					
5-1	2-3	成人の運動実施率	50.4 %	H25	50.4 %	H28	50.4 %	H29	43.8 %	H30	43.8 %	R1	65.0 %	R1	77.5%	77.5%	67.4%	67.4%	スポーツ振興課					

5	2			生きがいづくりと社会参加															
5	2	①		リタイア世代を対象とした生涯学習の推進															
			生涯学習課	仕事・子育てが一段落した層に対する学習プログラムの提供	実施中	生涯学習推進事業	不明	—			○	6公民館により各種・生涯学習・スポーツや文化芸術を主とした学級及び講座を開催し年間7,000人以上の市民が学習の場へ参加した。	各種学級・講座においては社会変化や時代に合わせたものを取り入れたことにより市民の学ぶ意識が高まった。また、生涯学習・スポーツ・文化芸術を通じ人と人がつながることにより学ぶ仲間が増え、新しいアイデアが生まれ今後の生涯学習の推進へつながった。	社会変化や時代に合わせた、学習プログラムを取り入れながら各種学級・講座を継続して開催し、生きがいを持つ事業を展開していく。	○	【5-2市政の「生涯学習・スポーツ・文化芸術」に対する満足度】 平成27年の基準値39.4%に対し目標値である50%にもっとも近づいた年は平成29年の47.1%であった。5年間の平均は42%程度となることから基準値から3%程度の増となった。新しいプログラムも取り入れたが、市民ニーズとのズレがあったと考えられる。			
			生涯学習課	自主活動団体の設立支援と活動支援	実施中	生涯学習推進事業	不明	—			○	4 公民館において生涯学習を推進する 7 団体に自主活動設立支援と活動支援を行った。	市民が自ら生涯学習を行う団体が設立されたことは、市民の学びの意識が広がったと評価する。	各種自主活動団体が設立されるよう継続して支援を行っていく。					

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						実施中・実施予定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)
5	2	②		第二の人生の創造のための結びつけ（マッチング）支援												
			高齢福祉課	仕事・ボランティア・健康増進・生涯学習・地域活動・老人クラブ等で不足する人材と希望者とのマッチングの支援（相談窓口設置・イベント開催・情報誌発行等）	実施中	生活支援体制整備事業	H30	—			○	生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置支援を通じて地域資源の把握に努めている。。市社協や更埴シルバー人材センターとの連携によりマッチングを進めている。	第1層協議体（市全体の生活支援について協議する組織）の打合せ会を定期開催することで、徐々にマッチングが進んでいる。	生活支援体制整備事業を継続して推進するとともに、既存の事業の状況も踏まえつつ、マッチングに向けての支援方策を継続して検討していく。	—	【5-2高齢になっても働くことを希望する人の割合】実績値については調査中であるため、今現在の進捗率は報告できない。
			高齢福祉課	シルバー人材センターの機能充実	実施中	①買い物支援サービス事業 ②受注・就業機会の拡大、入会の勧誘（役職員による企業訪問）、お客様満足度調査の実施	H27	—			○	①H29 14人 313回 /H30 14人 280回/R1 9人 232回 ②54社（1か月）	①直近3年を見ると利用者数は減少しているが、買い物弱者対策として有効 ②企業訪問による会員の増強やセンター事業の周知と人材育成、資質向上を図る取り組みである	①引き続き在宅高齢者支援のため、継続実施していく ②受注、就業機会確保や会員増強のため、定期的な訪問をしていく。	—	【5-2高齢になっても働くことを希望する人の割合】実績値については調査中であるため、今現在の進捗率は報告できない。
5	2	③		子どもとの交流・ふれあい												
			こども未来課	児童館、児童クラブ、地域社会学校（コミュニティスクール）で、現役時に培った技術や文化を伝える	実施中	児童館事業 放課後児童健全育成事業	不明	—			○	児童館・児童センターにおいて、子育て広場や赤い羽根募金などの行事等で地域住民との交流活動を行っている。	行事や活動を通して、地域住民やボランティアの方々と身近に接することができている。	引き続き児童館・児童センターで地域とのつながりを大切とした行事や交流活動を行っていく。		

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」															※黄色セルは進捗率100%超え										
具体的施策	総合計画	指標名	基準値		実績値 (A)						目標値 (B)		H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課								
基本目標 5 健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める																									
5-2		市政の「生涯学習・スポーツ・文化芸術」に対する満足度	39.4	%	H27	40.6	%	H28	38.1	%	H29	47.1	%	H30	45.1	%	R1 (R2調査)	50.0	%	R1	81.2%	76.2%	94.2%	90.2%	生涯学習課
5-2		高齢になっても働くことを希望する人の割合	65歳以上	22.4	%	H25	15.3	%	H28	15.3	%	H29 (H28)	15.3	%	H30 (H28)	15.3	%	R1 (H28)	上昇	R1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	高齢福祉課

5	3			健診受診促進と健康づくりの推進															
5	3	①		企業等と連携した健診受診の促進と健康増進情報の提供															
			健康推進課	各種検診の実施と受診促進	実施中	胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診	不明	—			○	各種がん検診受診者数 胃がん検診 1,004名 肺がん検診 1,823名 大腸がん検診 2,846名 乳がん検診 1,339名 子宮頸がん検診 1,492名	世帯ごとに検診対象者全員の氏名が掲載されている受診希望調査において、検診の受診勧奨を実施。 乳がん・子宮頸がん検診において、個別でハガキによる受診勧奨を実施。	継続		○	【5-3各種がん検診受診率】 R元年度各種がん検診進捗率平均 65.3% 人間ドック受診者数が増加していることも一因と推測される。		
			健康推進課	特定健診の受診促進	実施中	特定健診未受診者対策	H20年度	—			○	未受診者対策受診勧奨4,378件	地区担当者が受け持ち世帯に電話または訪問にて受診勧奨を実施。 月に3回5のつく日には、センター一斉に受診勧奨に取り組みを実施。	継続		○	【5-3特定健診・特定保健指導受診率】 データヘルズ計画でのR元年度特定健診受診率（目標）49%、R2.7.29現在 42.7% 受診率は年齢が上がるとに高い傾向があり、特定健診の対象から後期高齢者へ移行する人数より新たに特定健診の対象者になる人数が少ないため受診率が伸びにくい。		

基本 目標	具 体 的 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)		(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価		
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
			健康推進課	生活習慣病予防等の学習の場の提供	実施中	健康相談・健康教育事業	不明	—			○	健康相談82人、集団健康教育 2,124人、特定健診結果個別 相談会574人	健診データに基づく相談会は 生活や体格、年齢等個人に合 わせ保健指導を実施するよう 努めた	継続	◎	【5-3生活習慣病の発症及び 重症化予防】 医療費の適正化 医療費における生活習慣病 （予防可能な疾患）の割合は 21.2%と低下した。各健康相 談や健診結果の相談会等で、 疾病管理と健康情報の提供で きた。
5	3	②		三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会） との連携による健康づくりの促進												
			健康推進課	各種検診・健診の受診の促進	実施中	健康サポート事業	H27年 度	—			○	薬局にて各種健診（検診）チ ラシ配布	薬剤師会との連携を目的とし 情報の共有や学習会等実施し ているため評価がむずかしい	継続		
			健康推進課	治療・服薬中の市民に対する疾病管理と健 康情報の提供	実施中	特定健診・特定保健指導	H20年 度	—			◎	特定健診42.7%、特定保健指 導71.0%（R2.7.29現在）	国の目標60%達成	継続	◎	【5-3生活習慣病の発症及び 重症化予防】 医療費の適正化 治療中、服薬中の人に対し ても特定保健指導を実施し、疾 病管理と健康情報の提供で きた（H30法定報告：特定保健 指導終了率92.1%）。

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）一覧」																								※黄色セルは進捗率100%超え			
具体的施策	総合計画	指標名	基準値			実績値 (A)										目標値 (B)			H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課				
5-3	3-2	特定健診・特定保健指導受診率	特定健診	41.0 %	H26	特定健診	42.5 %	H28	特定健診	41.3 %	H29	特定健診	44.0 %	H30	特定健診	40.6 %	R1 途中経過 (10月)	特定健診	60 %	R1	70.8%	68.8%	73.3%	67.7%	健康推進課		
			特定保健指導	91.2 %		特定保健指導	92.6 %		特定保健指導	91.6 %		特定保健指導	92.1 %		特定保健指導	45.0 %		特定保健指導	92 %		100.7%	99.6%	100.1%	48.9%			
5-3	3-2	各種がん検診受診率	胃がん	8.1 %	H26	胃がん	9.5 %	H28	胃がん	8.6 %	H29	胃がん	7.7 %	H30	胃がん	6.7 %	R1	胃がん	20 %	R1	47.5%	43.0%	38.5%	33.5%	健康推進課		
			肺がん	18.4 %		肺がん	21.1 %		肺がん	19.6 %		肺がん	18.9 %		肺がん	17.7 %		肺がん	20 %		105.5%	98.0%	94.5%	88.5%			
			大腸がん	22.9 %		大腸がん	20.9 %		大腸がん	19.9 %		大腸がん	18.4 %		大腸がん	17.5 %		大腸がん	25 %		83.6%	79.6%	73.6%	70.0%			
			子宮頸がん	34.9 %		子宮頸がん	32.8 %		子宮頸がん	30.1 %		子宮頸がん	28.5 %		子宮頸がん	27.9 %		子宮頸がん	40 %		82.0%	75.3%	71.3%	69.8%			
			乳がん	41.4 %		乳がん	37.7 %		乳がん	31.9 %		乳がん	30.1 %		乳がん	29.1 %		乳がん	45 %		83.8%	70.9%	66.9%	64.7%			
5-3	3-2	生活習慣病の発症及び重症化予防	生活習慣病医療費割合	26.8 %	H26	生活習慣病医療費割合	23.5 %以下	H28	生活習慣病医療費割合	24.3 %以下	H29	生活習慣病医療費割合	21.9 %以下	H30	生活習慣病医療費割合	21.2 %以下	R1	生活習慣病医療費割合	25 %以下	R1	106.4%	102.9%	114.2%	117.9%	健康推進課		

基本 目標	具 体的 施 策	具 体的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括											
					実施状況 実施中・実施予 定・未実施・完了	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針				KPI評価	
						事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・―)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・―)	関連KPIの目標達成・非達成 理由
5	4			介護予防の実施												
5	4	①		元気高齢者に対する地域ぐるみの予防活動 の実施（一般介護予防の実施）												
			高齢福祉課	生活習慣病重度化、運動機能低下等の予防 のための啓発	実施中	介護予防教室・出前講座	H18	―			○	参加者の半数以上に身体機能 の改善がみられた。また、そ の後の運動の継続率が80%以 上であった。	高齢者の身体機能の改善、外 出のきっかけづくり、仲間づ くりの機会として機能した。 また、高齢期の生活の維持・ 向上につながった。	引き続き、高齢者の介護予防 を推進していく。	○	【5-4介護予防事業（平成31 年度は介護予防・日常生活支 援総合事業）へ参加の高齢者 人口に対する割合】 R元年度実績について、東日 本台風・新型コロナウイルス 感染症の影響を受け、教室等 の開催回数、参加人数が前年 度に比べ減少した。
			高齢福祉課	介護予防推進活動ボランティアの育成支援	実施中	認知症サポーター養成講座 健康づくり応援団	H18 H21	―			○	・認知症サポーター養成講座 参加者362名 ・健康づくり応援団の体操教 室、講座 84回開催 延1,377 名参加	高齢者（参加者）の介護予防 を推進し、加えて、応援団 （ボランティア）のやりがい を創出した。	高齢者の介護予防を推進する ため、引き続き元気高齢者 （ボランティア）の活用を 図っていく。	○	【5-4介護予防事業（平成31 年度は介護予防・日常生活支 援総合事業）へ参加の高齢者 人口に対する割合】 R元年度実績について、東日 本台風・新型コロナウイルス 感染症の影響を受け、教室等 の開催回数、参加人数が前年 度に比べ減少した。
			高齢福祉課	新型体操の導入による健康増進	実施中	千曲市健康寿命延伸体操 「あん姫いきいき体操」	H28	―			○	介護予防教室・健康づくり応 援団の活動をはじめとし、 様々な機会を捉え、「あん姫 いきいき体操」の普及を図っ た。	市民へ体操の普及を図ること により、健康の維持・介護予 防へつながった。	引き続き、様々な機会を捉え 「あん姫いきいき体操」の普 及を図り、高齢者の介護予防 を推進していく。	○	【5-4介護予防事業（平成31 年度は介護予防・日常生活支 援総合事業）へ参加の高齢者 人口に対する割合】 R元年度については、東日本 台風・新型コロナウイルス感 染症の影響により、普及の機 会が前年度に比べ減少した。
5	4	②		住み慣れた地域で交流できる場と機会の創 出促進												
			高齢福祉課	在宅で暮らす閉じこもりがちな高齢者・障 がい者の外出・交流機会の提供	実施中	生活支援体制整備事業	H30	―			○	地域の中に高齢者の集いの場 などが創出された。	外出支援及び集いの場などの 創出・整備はまだ不十分であ るり、今後も継続して取り組 む必要がある。	今後も事業を進め、高齢者の 社会参加をが叶う地域づくり を目指す。	◎	【5-4地域担当の生活支援 コーディネーター（地域支え 合い推進員）の配置数】 市職員が当該業務を担うこと によって目標数に達した。
			福祉課		実施中	①移動支援事業 ②地域活動支援センター事業 ③タクシー利用料金助成事業 ④自動車運転免許取得助成事 業 ⑤自動車改造助成事業 ⑥社会福祉施設等通所等扶助	① H18.10 要綱告示 ② H23.12 要綱告示 ③H16.3 要綱告示 ④H15.9 要綱告示 ⑤H15.9 要綱告示 ⑥H20.2 要綱告示	―			○	①移動支援事業(実利用人数 44人) ②地域活動支援センター事業 (市内3ヶ所) ③タクシー利用料金助成事業 (発行者数371人) ④自動車運転免許取得助成事 業(2件) ⑤自動車改造助成事業(2件) ⑥社会福祉施設等通所等扶助 (通学84人、入所117人、通所 225人)	外出することが困難になりが ちな障がい者に対する各種事 業を継続実施し、一定の効果 があった。	障がい者の地域生活及び社会 参加をサポートするための支 援を進める。	―	【5誰もが安心して暮らせる地 域になっていると感じる市民 の割合】 調査不可
5	4	③		在宅生活を支える支援サービス提供体制の 構築支援												
			高齢福祉課	生活支援調整担当者（コーディネーター） の配置等によるサービス利用基盤の整備	実施中	生活支援体制整備事業	H30	―			○	生活支援調整担当者（コー ディネーター）の配置が概ね 完了し、サービス利用基盤の 整備が進んだ。	生活支援調整担当者（コー ディネーター）が中心となっ て事業を推進し、基盤整備を 堅調に進めている。	更なるサービス利用及び地域 基盤の整備を進め、高齢者の ニーズに沿った支援の実現を 目指す。	◎	【5-4地域担当の生活支援 コーディネーター（地域支え 合い推進員）の配置数】 市職員が当該業務を担うこと によって目標数に達した。

基本 目標	具 体 的 な 施 策	具 体 的 な 取 組	担当課名	項目、具体的な取組	R 1総括												
					実施状況	(1.実施中・完了の場合)			(2.実施予定、又は実施しない場合)		事業実施成果・評価・今後の方針					KPI評価	
					実施中・実施予 定・未実施・完了	事業名	事業開始 年度	事業終了 年度	着手予定 年度	実施延ばした理由、又は実施 しない理由	達成状況 (○・○・ △・ー)	具体的な成果（数値含め）	成果に対する所管課評価	今後の事業方針	達成状況 (○・○・ △・ー)	関連KPIの目標達成・非達成 理由	

千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」																※黄色セルは進捗率100%超え			
具体的施策	総合計画	指標名	基準値	実績値 (A)								目標値 (B)	H28進捗率 (A/B)	H29進捗率 (A/B)	H30進捗率 (A/B)	R1進捗率 (A/B)	担当課		
基本目標 5 健康寿命を延ばし高齢者の社会参加を高める																			
5-4	3-4	介護予防事業（平成31年度は介護予防・日常生活支援総合事業）へ参加の高齢者人口に対する割合	3,977 人	H26	4,349 人	H28	7,542 人	H29	4,630 人	H30	3,881 人	R1	4,608 人	R1	94.4%	163.7%	100.5%	84.2%	高齢福祉課
			21.6 %		22.9 %		39.3 %		23.8 %		19.9 %		24.3 %		94.2%	161.7%	97.9%	81.9%	
5-4	3-4	市域担当の生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置数	0 人	H27	0 人	H28	0 人	H29	1 人	H30	1 人	R1	1 人	R1	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	高齢福祉課